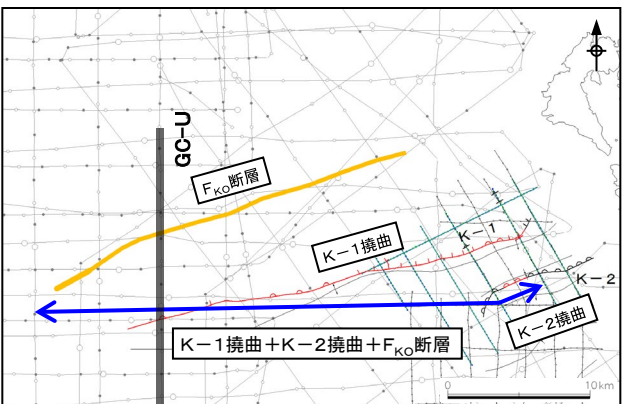
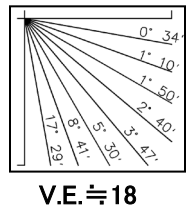
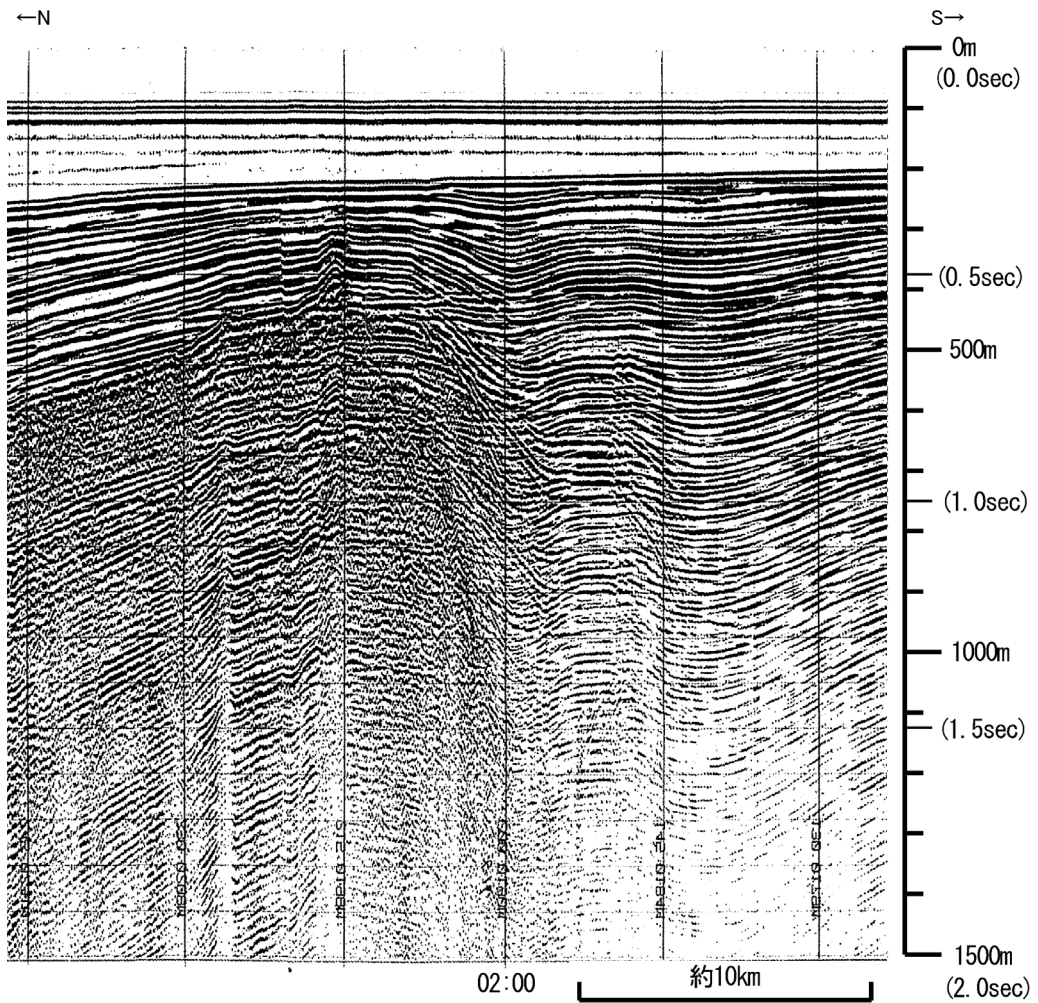


3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
F_{KO}断層の代表測線(音波探査記録)

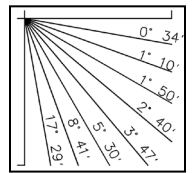
GC-U
[産業技術総合研究所(エアガン・シングル)]



3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
F_{KO}断層の代表測線(音波探査解析図)

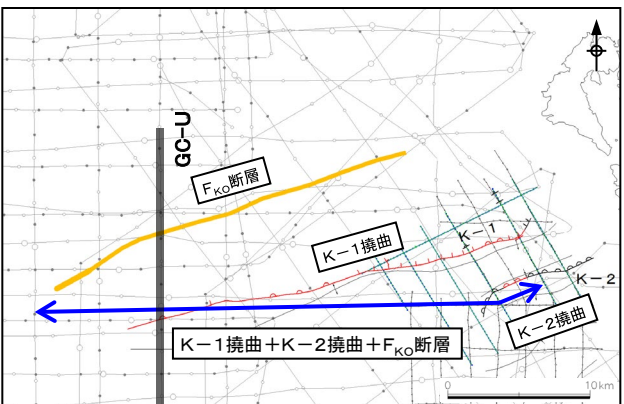
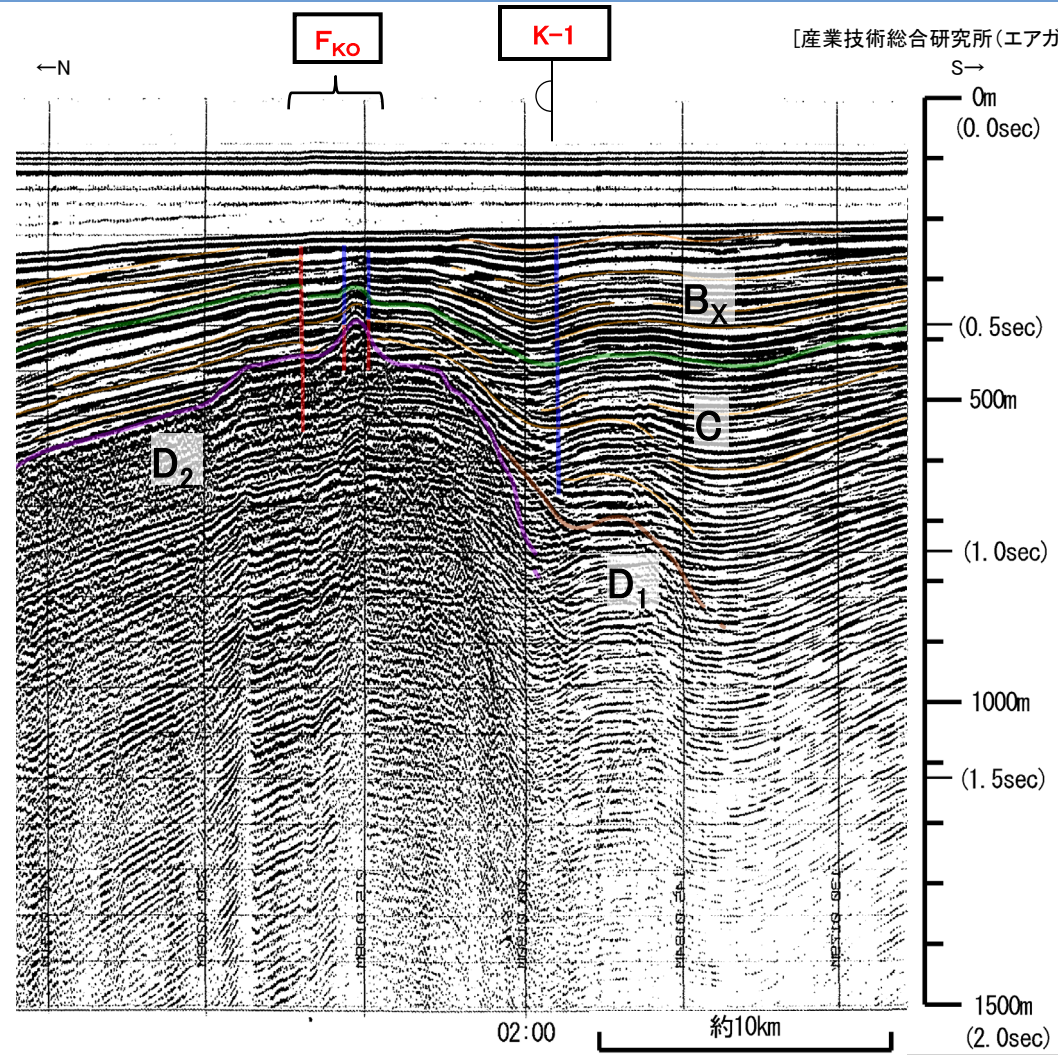
第四紀	完新世	A
	更新世	B _x
	後期	
新第三紀	鮮新世	C
	中新世	D ₁
		D ₂
火山岩・貫入岩		V

断層(変形)
断層(変位)



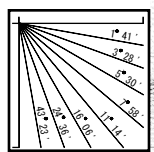
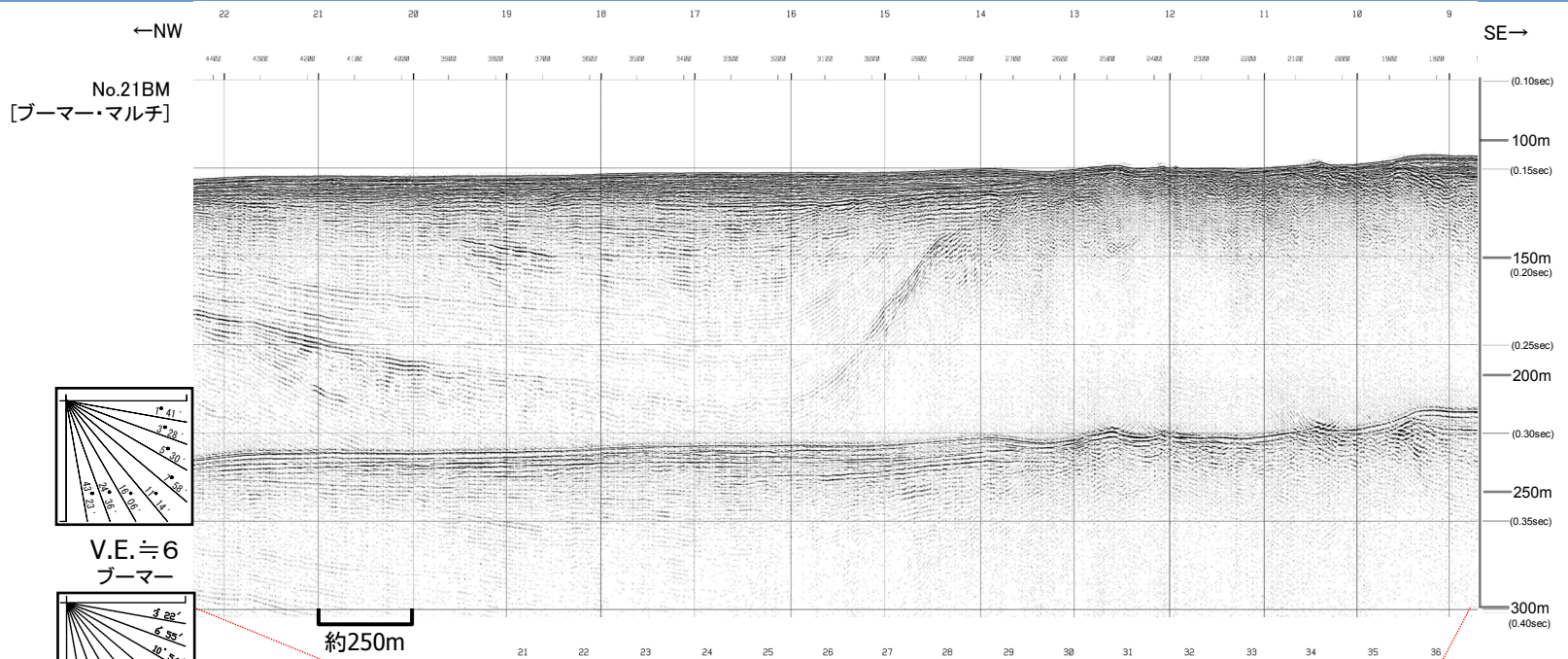
V.E. ≒ 18

GC-U
[産業技術総合研究所(エアガン・シングル)]

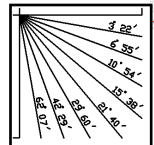


・F_{KO}断層は、D₂層の高まりの頂部に位置し、D₂層上面以上に明瞭な変位や変形が認められ、正のフラワーストラクチャーを示す。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層 K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の東端(音波探査記録)

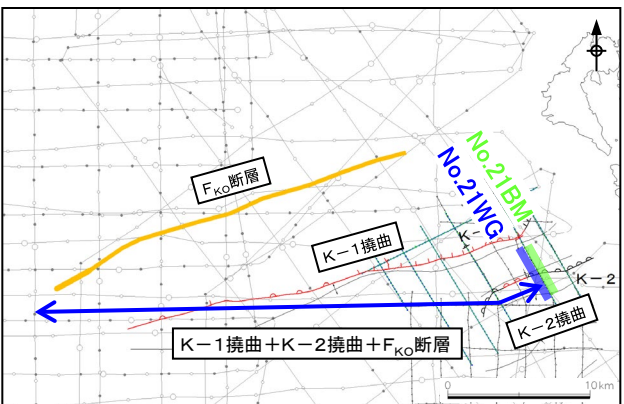
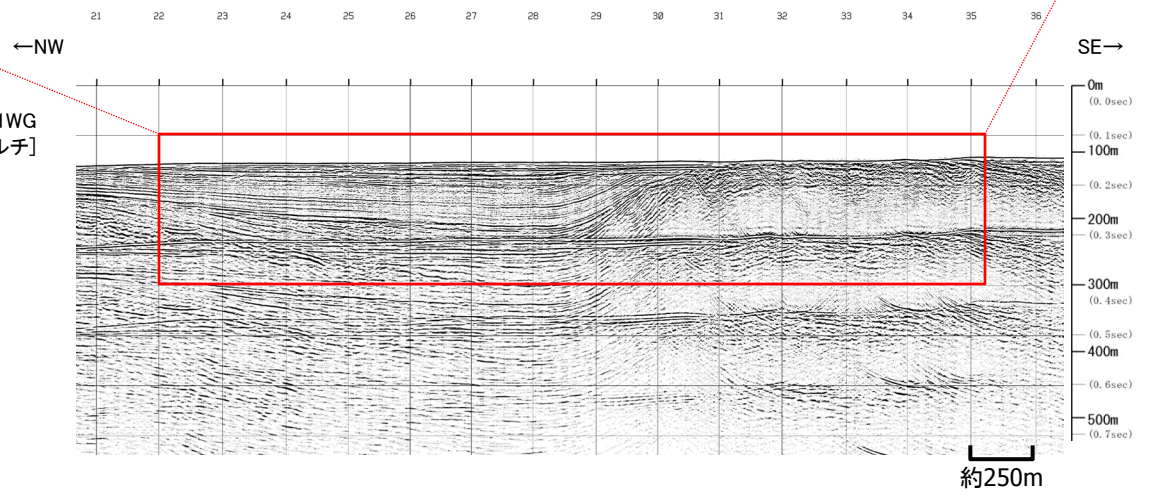


V.E. = 6
ブーマー

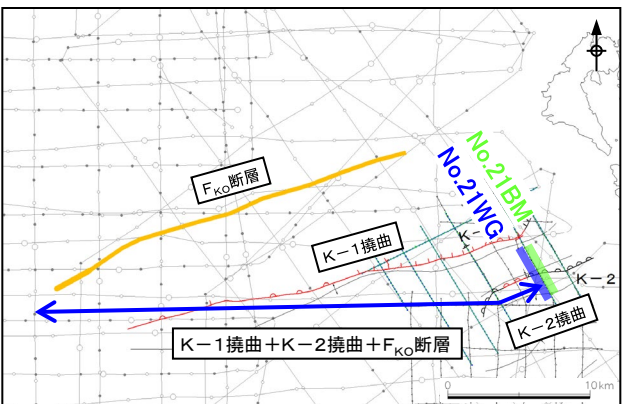
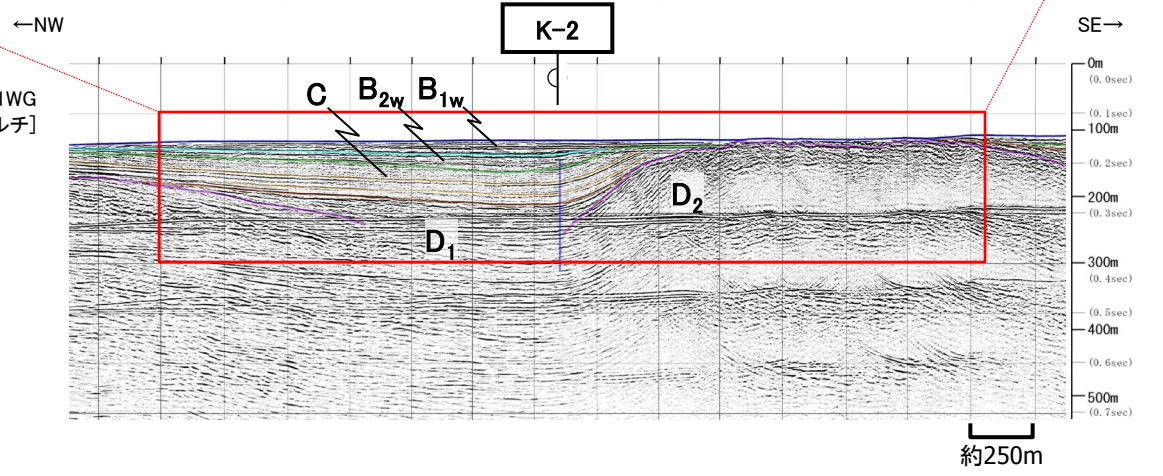
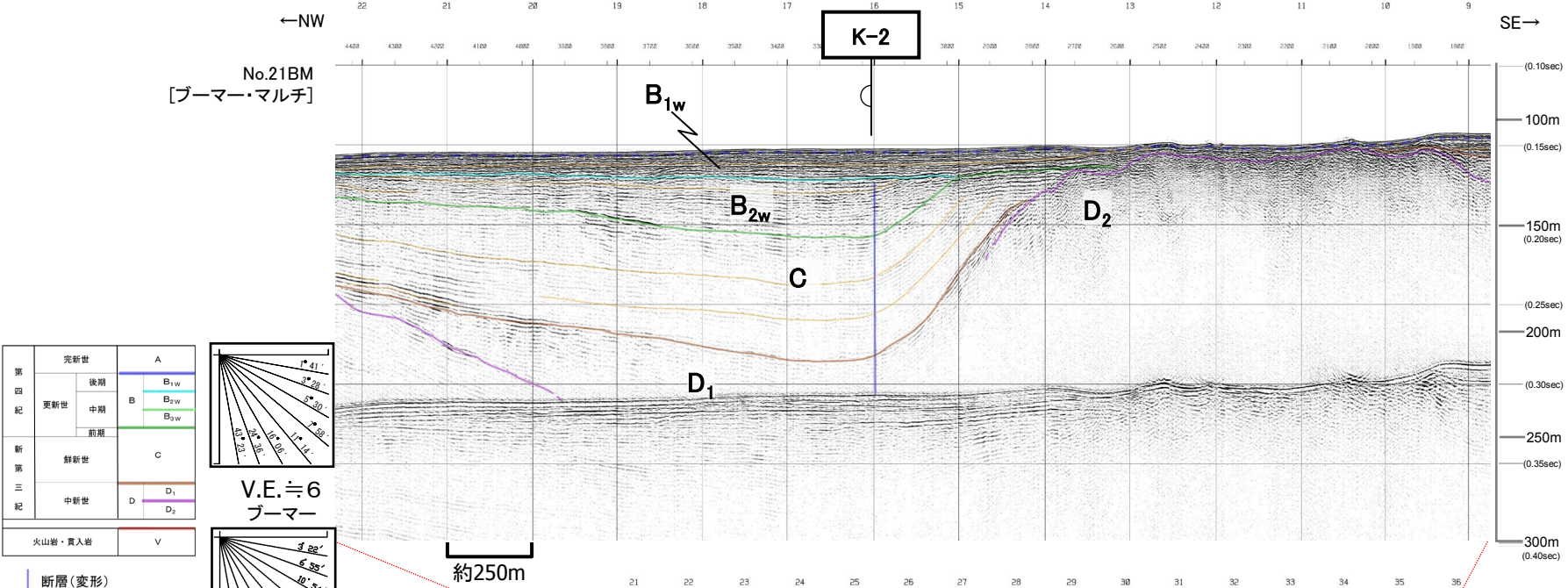


V.E. = 3
ウォーターガン

No.21WG
[ウォーターガン・マルチ]



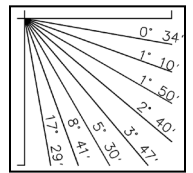
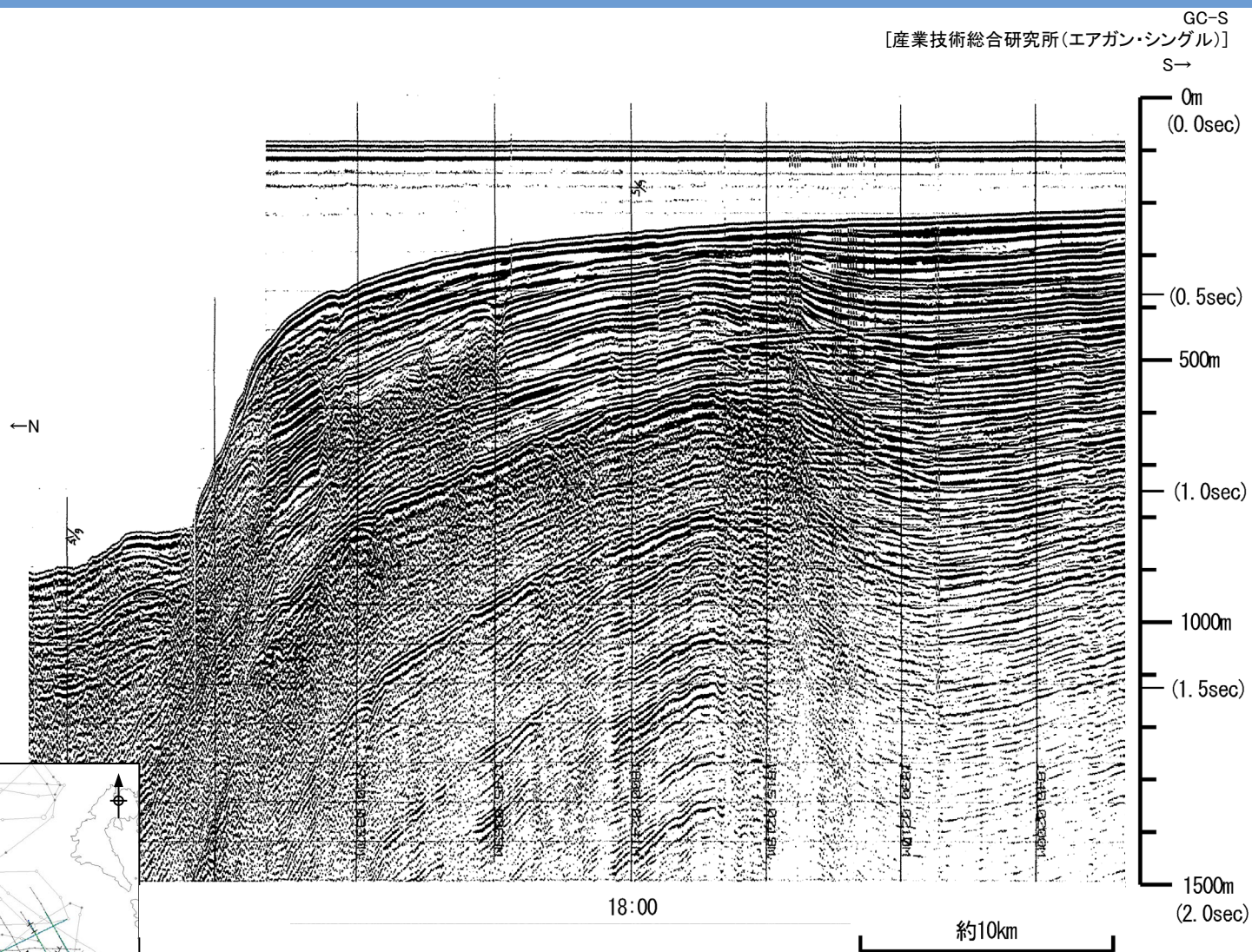
3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
 K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の東端(音波探査解析図)



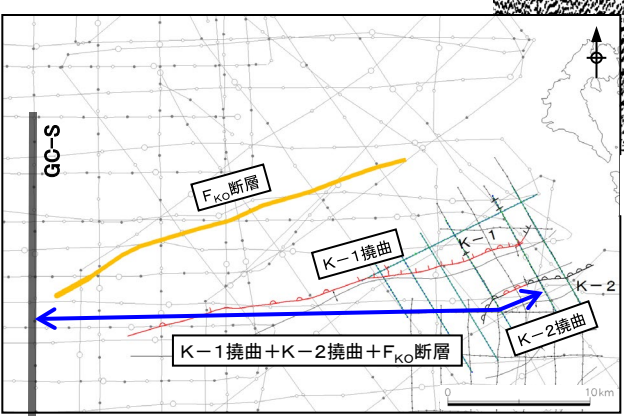
・K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の東端部にあたるK-2撓曲は, B_{2w}層まで変形が認められるが, B_{1w}層以上に断層活動を示唆する変位や変形は認められない。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の西端(音波探査記録)

GC-S
[産業技術総合研究所(エアガン・シングル)]



V.E. ≒ 18



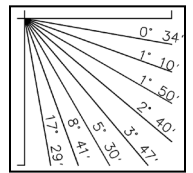
18:00

約10km

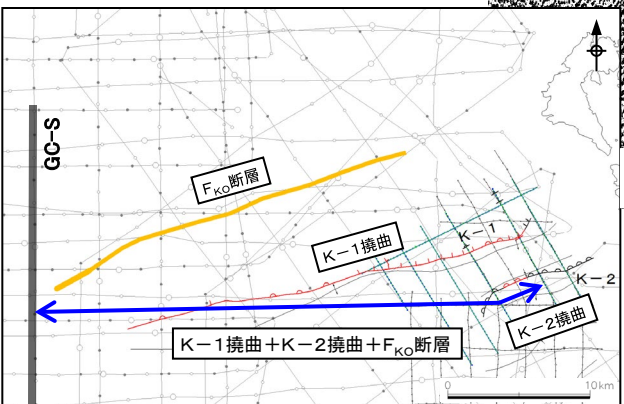
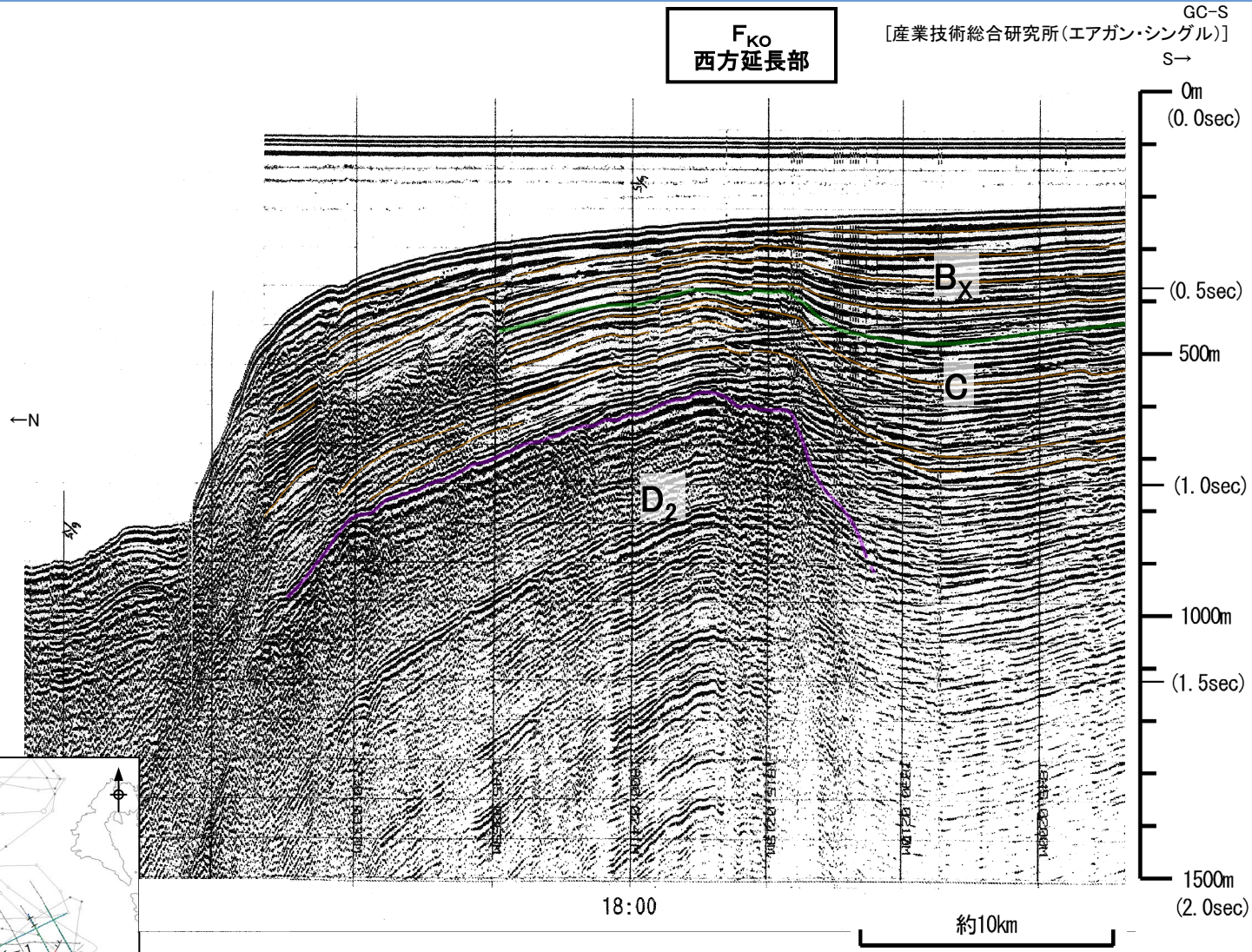
3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の西端(音波探査解析図)

第四紀	完新世	A
	更新世	B _x
	後期	
新第三紀	鮮新世	C
	中新世	D ₁
		D ₂
火山岩・貫入岩		V

断層(変形)
断層(変位)



V.E. ≒ 18



・K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層の西端部にあたるF_{KO}断層西方延長部において, D₂層上面以上の明瞭な変位やフラワーストラクチャーは見られず, 断層活動を示唆する変位や変形は認められない。

1. 敷地周辺海域の地質・地質構造

2. 敷地前面海域の断層活動性評価

- (1) F-Ⅲ断層, F-Ⅳ断層及びF-V断層
- (2) FK-1断層
- (3) K-4撓曲, K-6撓曲及びK-7撓曲
- (4) F-I断層
- (5) F-II断層
- (6) F-VI断層
- (7) K-5撓曲
- (8) F-①断層及びF-②断層

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価

- (1) 鳥取沖西部断層及び鳥取沖東部断層
- (2) 大田沖断層
- (3) F57断層
- (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
- (5) 隠岐北西方の断層
- (6) 見島付近の断層
- (7) 見島北方沖の断層
- (8) 地蔵崎北東沖の断層

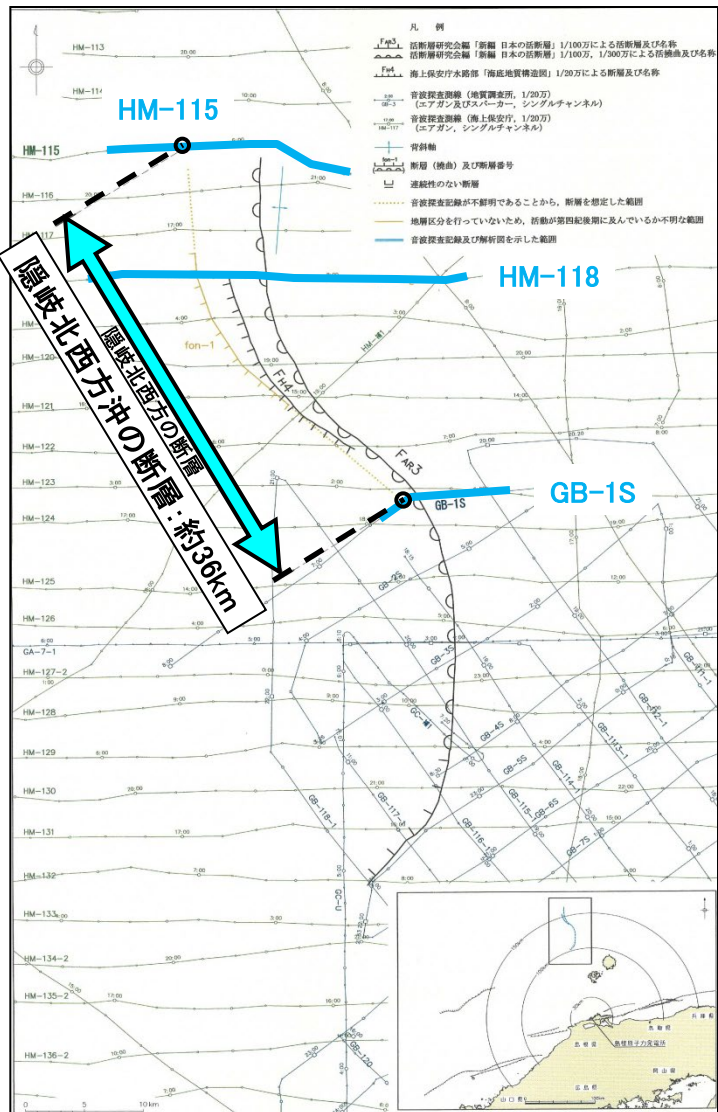
4. 敷地前面海域の地質層序

5. 敷地周辺海域の地質層序

- (1) 鳥取沖
- (2) 大田沖
- (3) その他海域

隠岐北西方の断層の評価

隠岐北西方の断層の位置図

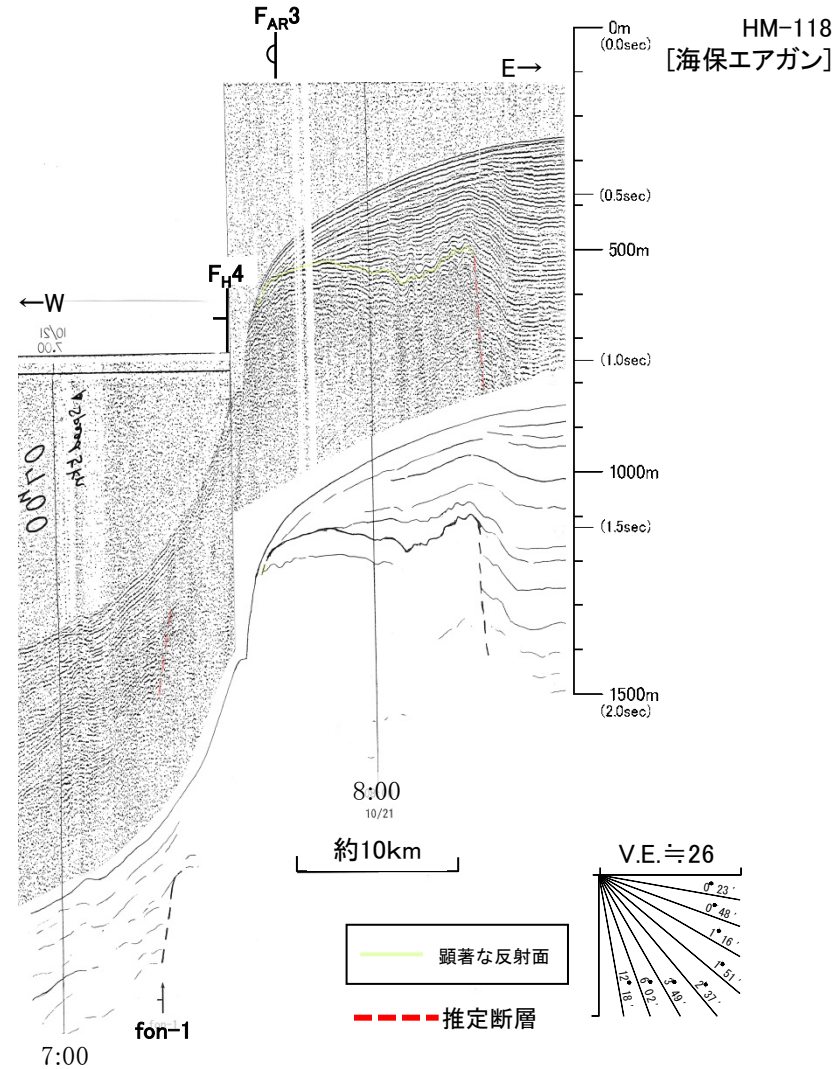
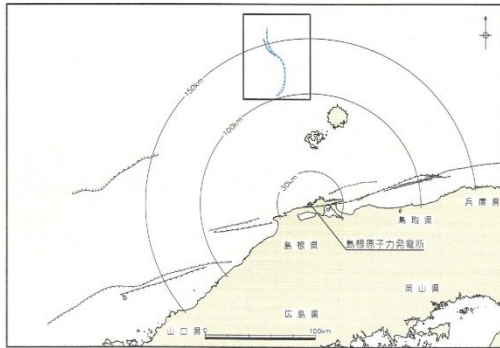
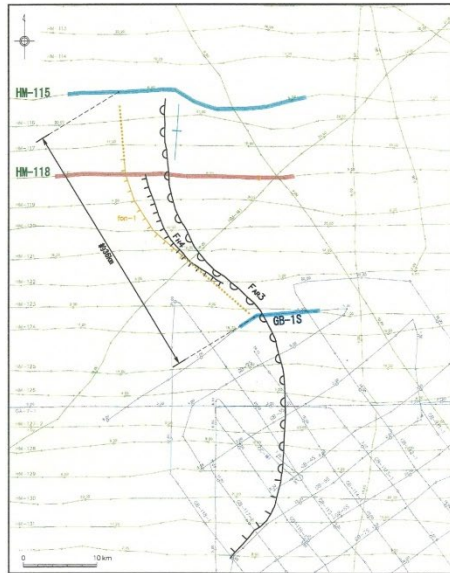


活断層研究会編(1991)⁽³⁴⁾等で隠岐北西方の大陸斜面に示された断層(以下「隠岐北西方の断層」という。)について、海上保安庁水路部(1980)⁽³⁵⁾等の音波探査記録に基づいて、分布性状及び活動性を検討した。

- ・隠岐北西方の断層については、海上保安庁水路部等の音波探査記録によれば、文献で示されている断層の中央部及び南部においては断層が認められない。
- ・北部においては海上保安庁水路部の音波探査記録によれば、約36km区間で一部に不明瞭な部分があり、活動が後期更新世以降に及んでいる可能性のある断層も認められるが、敷地からの距離を考慮すると、敷地に与える影響は小さいと判断される。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (5) 隠岐北西方の断層

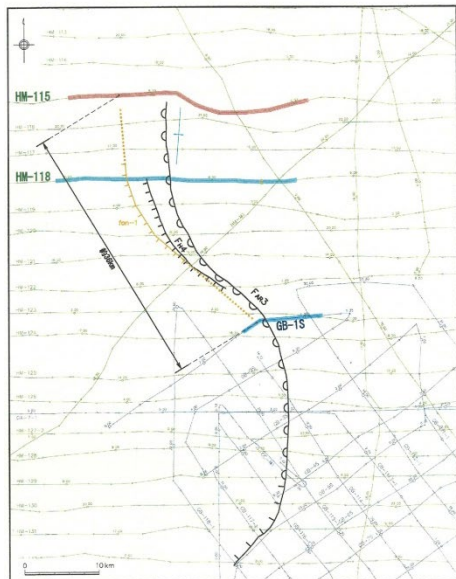
隠岐北西方の断層の代表測線(音波探査解析図)



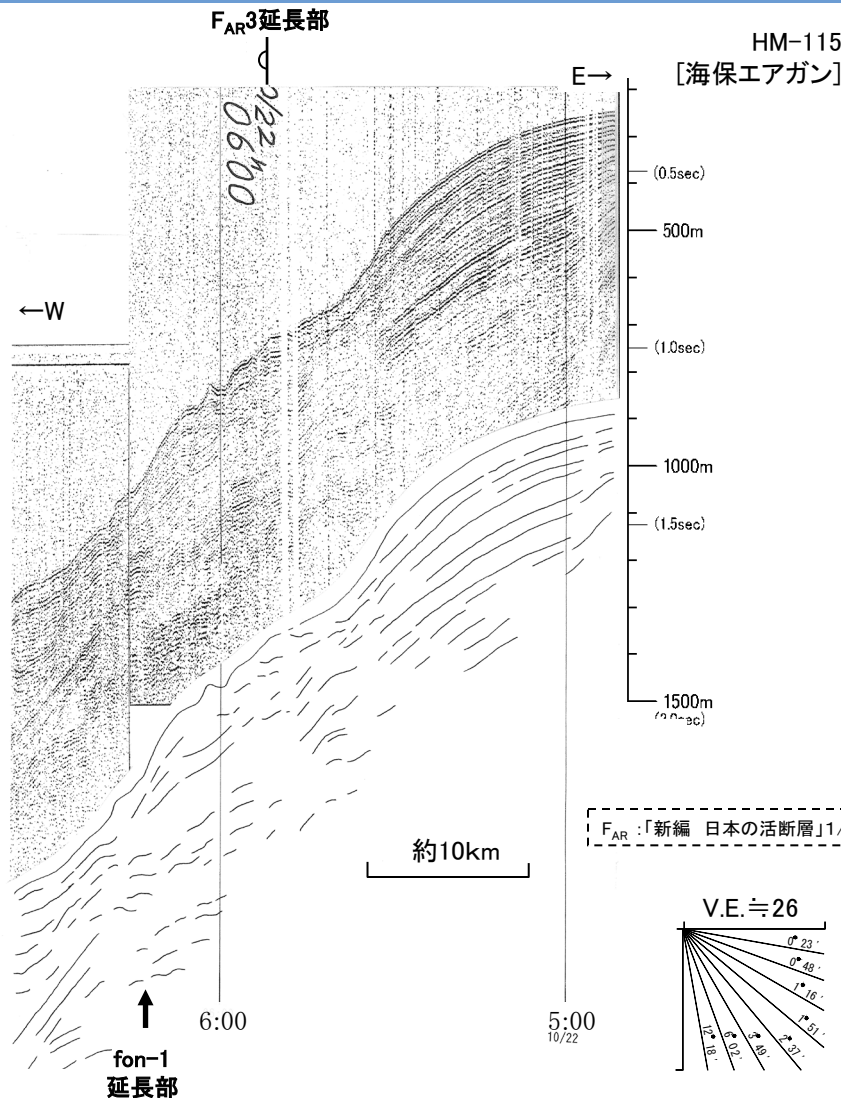
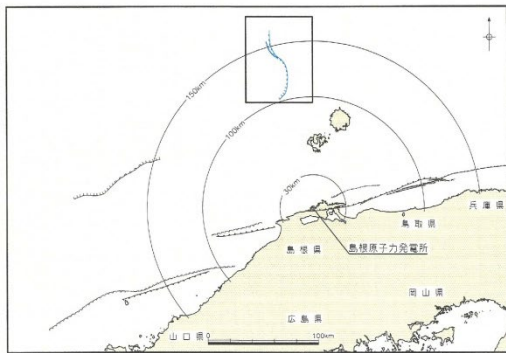
F_{AR}: 「新編 日本の活断層」1/100万, 1/300万による活撓曲
 F_H: 海上保安庁水路部「海底地質構造図」1/20万による断層

- ・文献断層(撓曲)位置周辺には、海底下深部までに変位を与えるfon-1断層が認められる。
- ・fon-1断層は、海底下浅部には変位や変形を与えていない。

隠岐北西方の断層の北端(音波探査解析図)



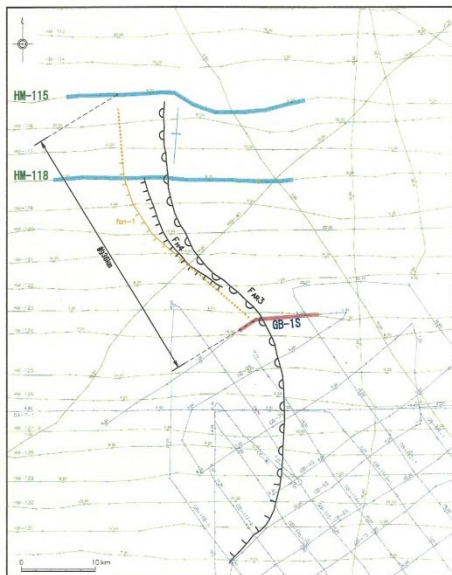
- 凡例
- 断層 (構造) 及び断層番号
 - 連続性のない断層
 - 音波探査記録が不明であることから、断層を想定した範囲
 - 断層区分を行っていないため、断層が敷地北東部に沿っていても不明な範囲
 - 右図に示す音波探査記録の位置



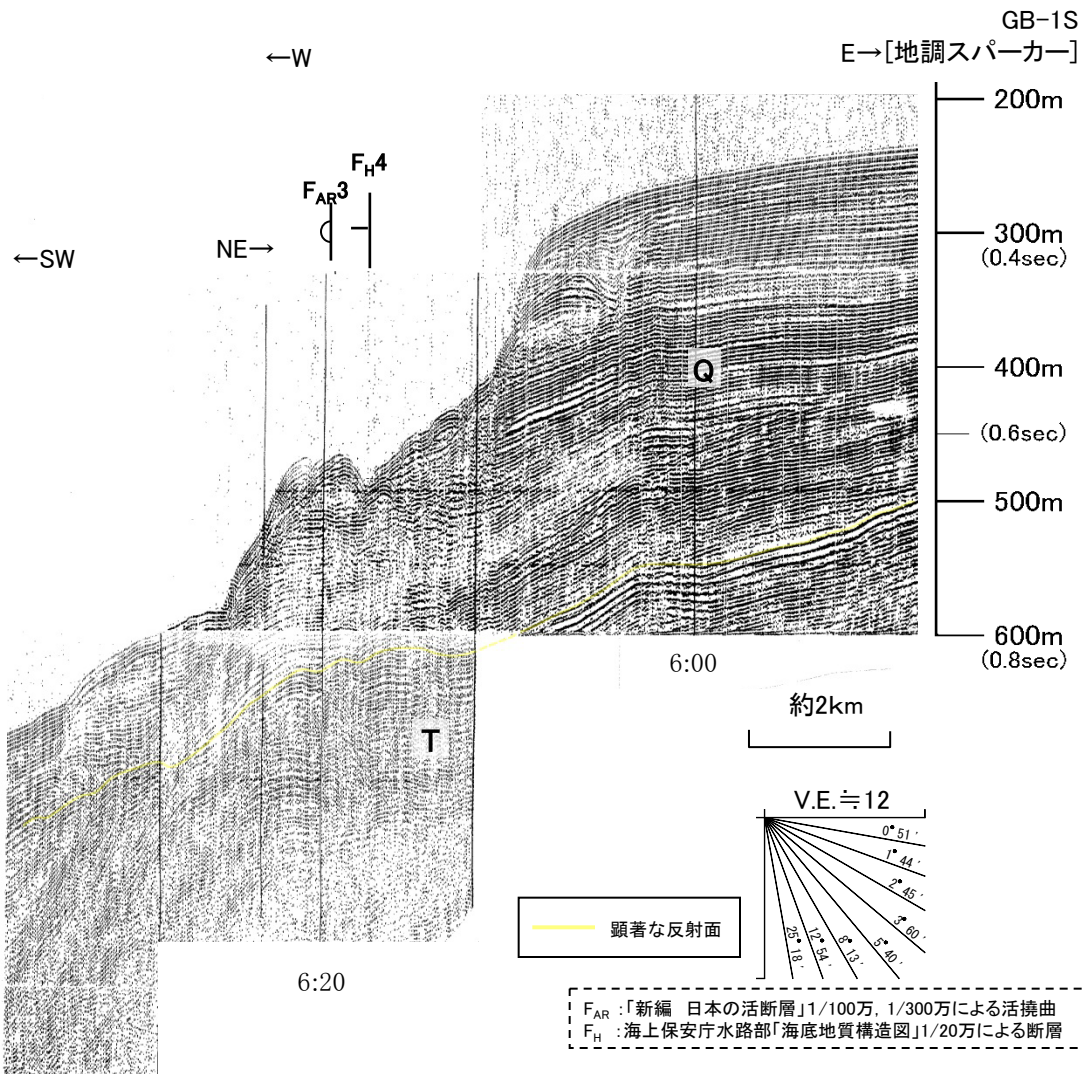
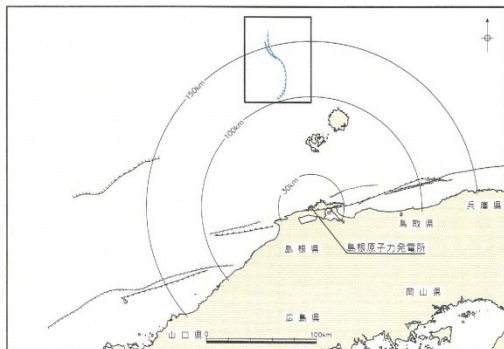
F_{AR}: 「新編 日本の活断層」1/100万, 1/300万による活撓曲

文献断層(撓曲)延長部周辺において、海底下深部に**変位**や**変形**は認められない。

隠岐北西方の断層の南端(音波探査解析図)



- 凡 例
- 断層 (線画) 及び断層番号
 - 連続性のない断層
 - 音波探査記録が不明であることから、断層を想定した範囲
 - 断層区分を行っていないため、假説が断層に適用しにくい可能性がある断層
 - 右図に示す音波探査距離の位置



文献断層位置周辺には, T層(中新統~下部更新統)の上部に変位や変形は認められない。

1. 敷地周辺海域の地質・地質構造

2. 敷地前面海域の断層活動性評価

- (1) F-Ⅲ断層, F-Ⅳ断層及びF-V断層
- (2) FK-1断層
- (3) K-4撓曲, K-6撓曲及びK-7撓曲
- (4) F-I断層
- (5) F-II断層
- (6) F-VI断層
- (7) K-5撓曲
- (8) F-①断層及びF-②断層

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価

- (1) 鳥取沖西部断層及び鳥取沖東部断層
- (2) 大田沖断層
- (3) F57断層
- (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
- (5) 隠岐北西方の断層
- (6) 見島付近の断層
- (7) 見島北方沖の断層
- (8) 地蔵崎北東沖の断層

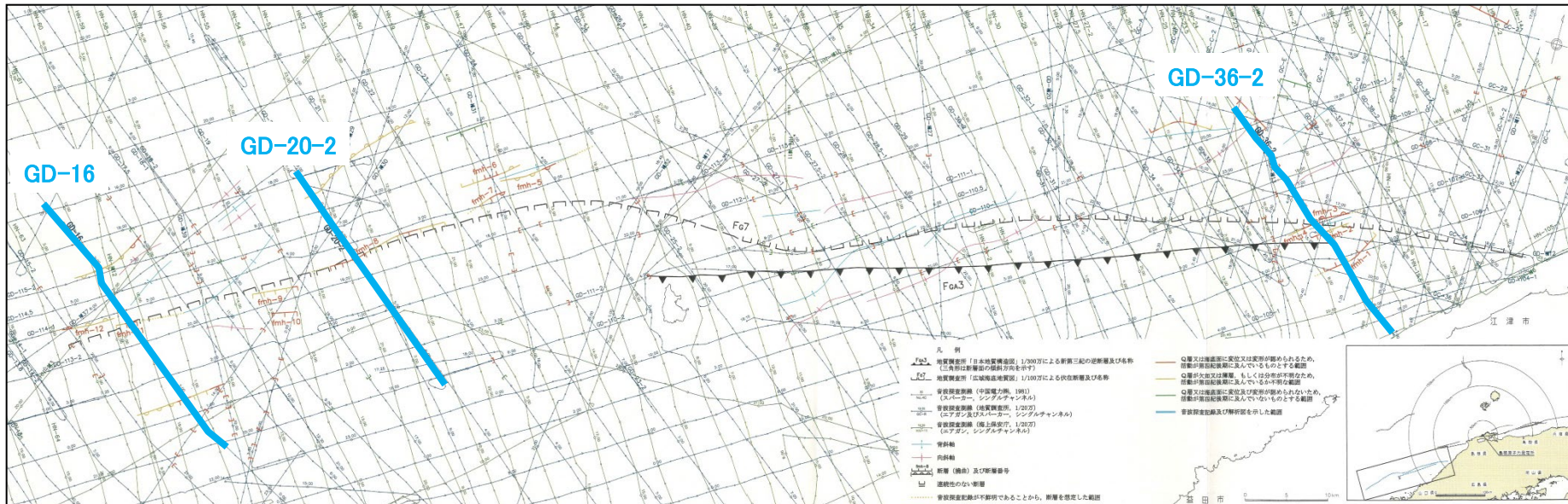
4. 敷地前面海域の地質層序

5. 敷地周辺海域の地質層序

- (1) 鳥取沖
- (2) 大田沖
- (3) その他海域

見島付近の断層の評価

見島付近の断層の位置図

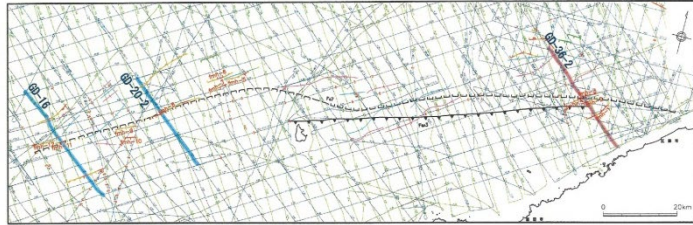


脇田ほか(1992)等で島根県西部から福岡県沿岸の大陸棚に示された断層(以下「見島付近の断層」という。)について、海上保安庁水路部等の音波探査記録に基づいて、分布性状及び活動性を検討した。

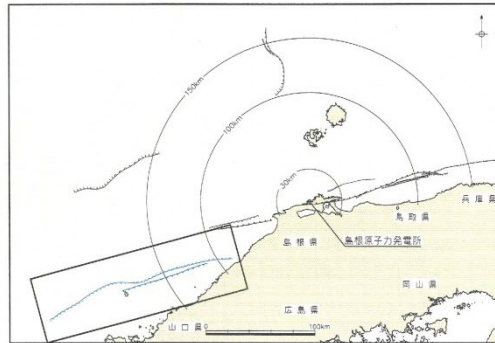
- ・見島付近の断層については、文献で示されている断層の中央部においては、海上保安庁水路部等の音波探査記録によれば、中部更新統以上には連続性のある断層は認められない。
- ・東部及び西部においては中部更新統以上に影響を与える数条の断層が認められるが、いずれも長さが短く、敷地からの距離を考慮すると、敷地に与える影響は小さいと判断される。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (6)見島付近の断層

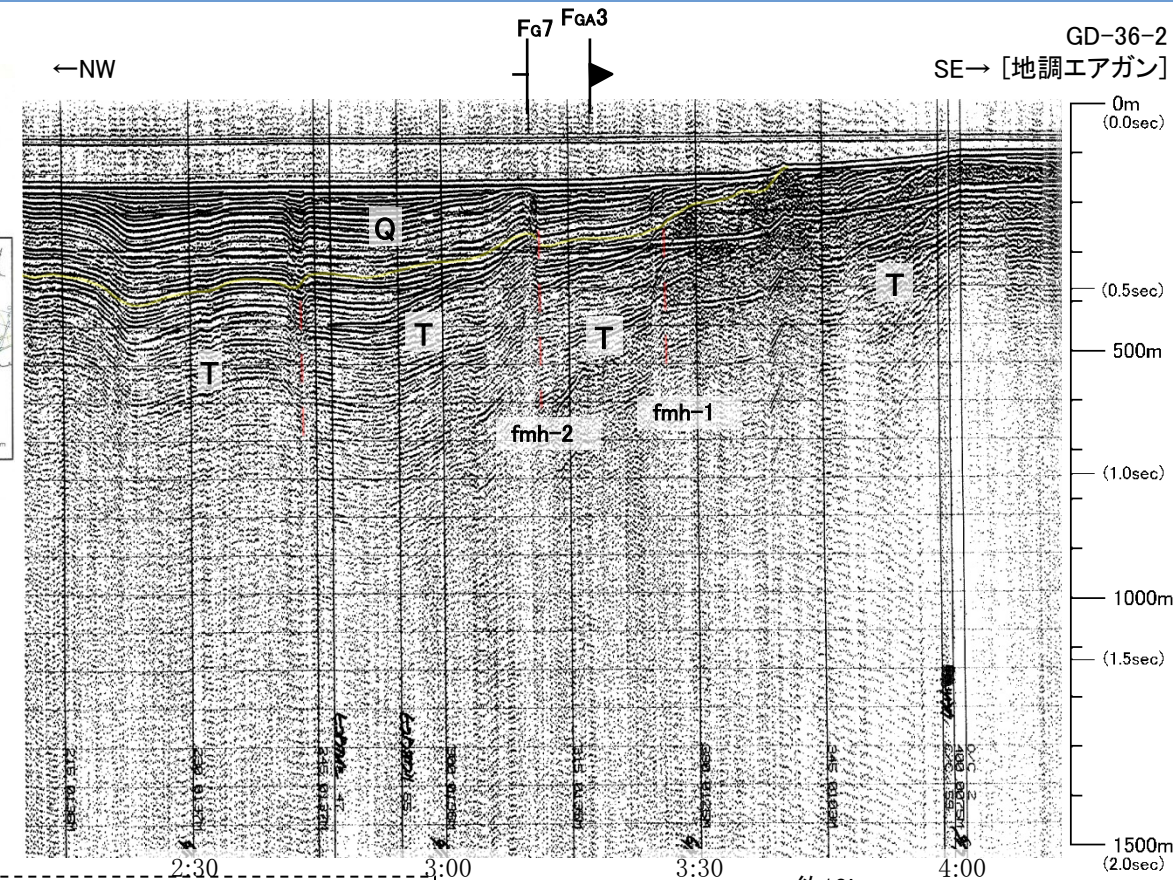
見島付近の断層の代表測線-1(音波探査解析図)



- 凡例
- 断層 (傾向) 及び断層番号
 - 連続性のない断層
 - 音波探査記録が不明であることから、断層を想定した範囲
 - 右図に示す音波探査測線の位置
 - Q層又は断層面に変位又は変形が認められるため、断層が第四紀断層に入っているものとする範囲
 - Q層が欠如又は薄層、もしくは分層が不明なため、断層が第四紀断層に入っているか不明な範囲
 - Q層又は断層面に変位及び変形が認められないため、断層が第四紀断層に入っていないものとする範囲



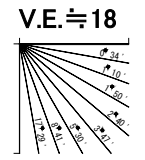
F_{GA}: 地質調査所「日本地質構造図」1/300万による新第三紀の逆断層
F_G: 地質調査所「広域海底地質図」1/100万による伏在断層及び推定断層



- Q層 中期更新世～完新世
- T層 中新世～前期更新世

--- 推定断層

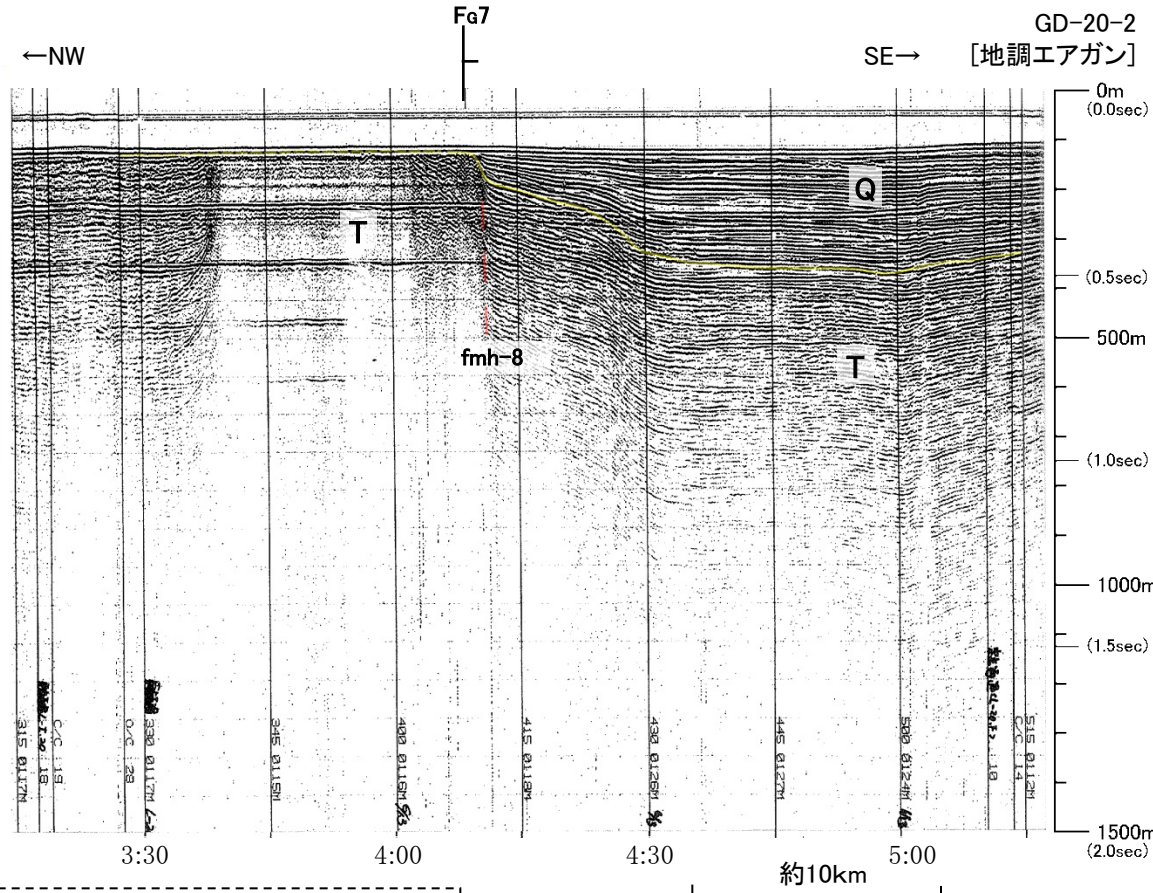
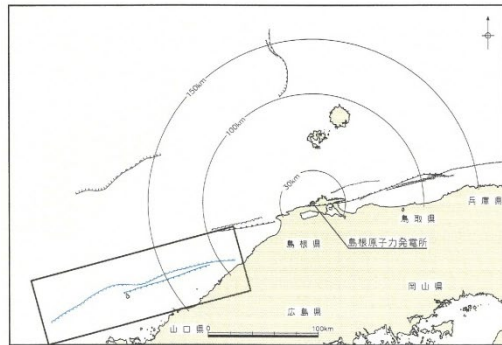
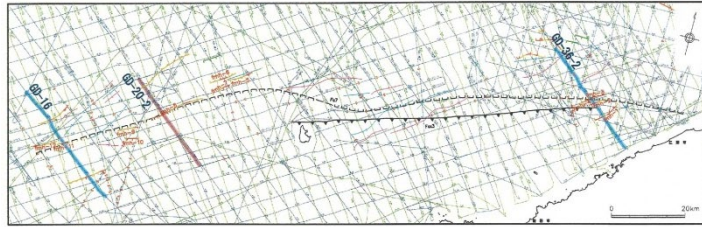
- Q層
- T層



文献断層位置周辺には、T層(中新統～下部更新統)までに変位を、Q層(中部更新統～完新統)までに変形を与えるfmh-2断層と、T層までに変位を、Q層の下部までに変形を与え、Q層の上部には変位や変形を与えていないfmh-1断層が認められる。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (6)見島付近の断層

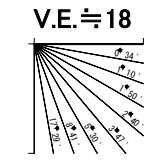
見島付近の断層の代表測線-2(音波探査解析図)



F_G: 地質調査所「広域海底地質図」1/100万による伏在断層及び推定断層

Q	Q層 中期更新世～完新世
T	T層 中新世～前期更新世

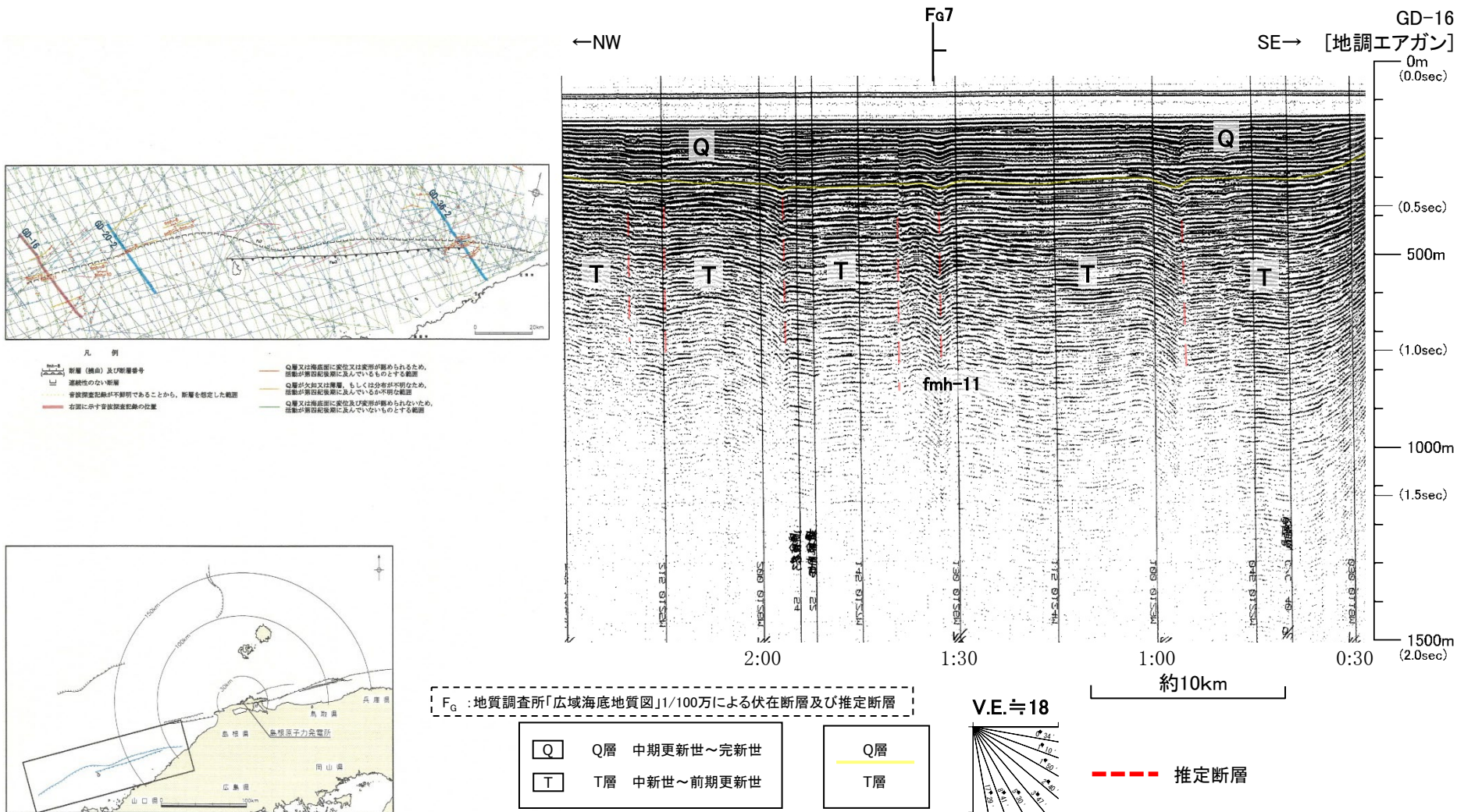
Q層
T層



----- 推定断層

- ・文献断層位置周辺には、T層(中新統～下部更新統)までに変位を、Q層(中部更新統～完新統)の下部までに変形を与えるfmh-8断層が認められる。
- ・fmh-8断層は、Q層の上部には変位や変形を与えていない。

見島付近の断層の代表測線-3(音波探査解析図)



・文献断層位置周辺には、T層(中新統～下部更新統)までに変位を、Q層(中部更新統～完新統)の下部までに変形を与えるfmh-11断層が認められる。

・fmh-11断層は、Q層の上部には変位や変形を与えていない。

1. 敷地周辺海域の地質・地質構造

2. 敷地前面海域の断層活動性評価

- (1) F-Ⅲ断層, F-Ⅳ断層及びF-V断層
- (2) FK-1断層
- (3) K-4撓曲, K-6撓曲及びK-7撓曲
- (4) F-I断層
- (5) F-II断層
- (6) F-VI断層
- (7) K-5撓曲
- (8) F-①断層及びF-②断層

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価

- (1) 鳥取沖西部断層及び鳥取沖東部断層
- (2) 大田沖断層
- (3) F57断層
- (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
- (5) 隠岐北西方の断層
- (6) 見島付近の断層
- (7) 見島北方沖の断層
- (8) 地蔵崎北東沖の断層

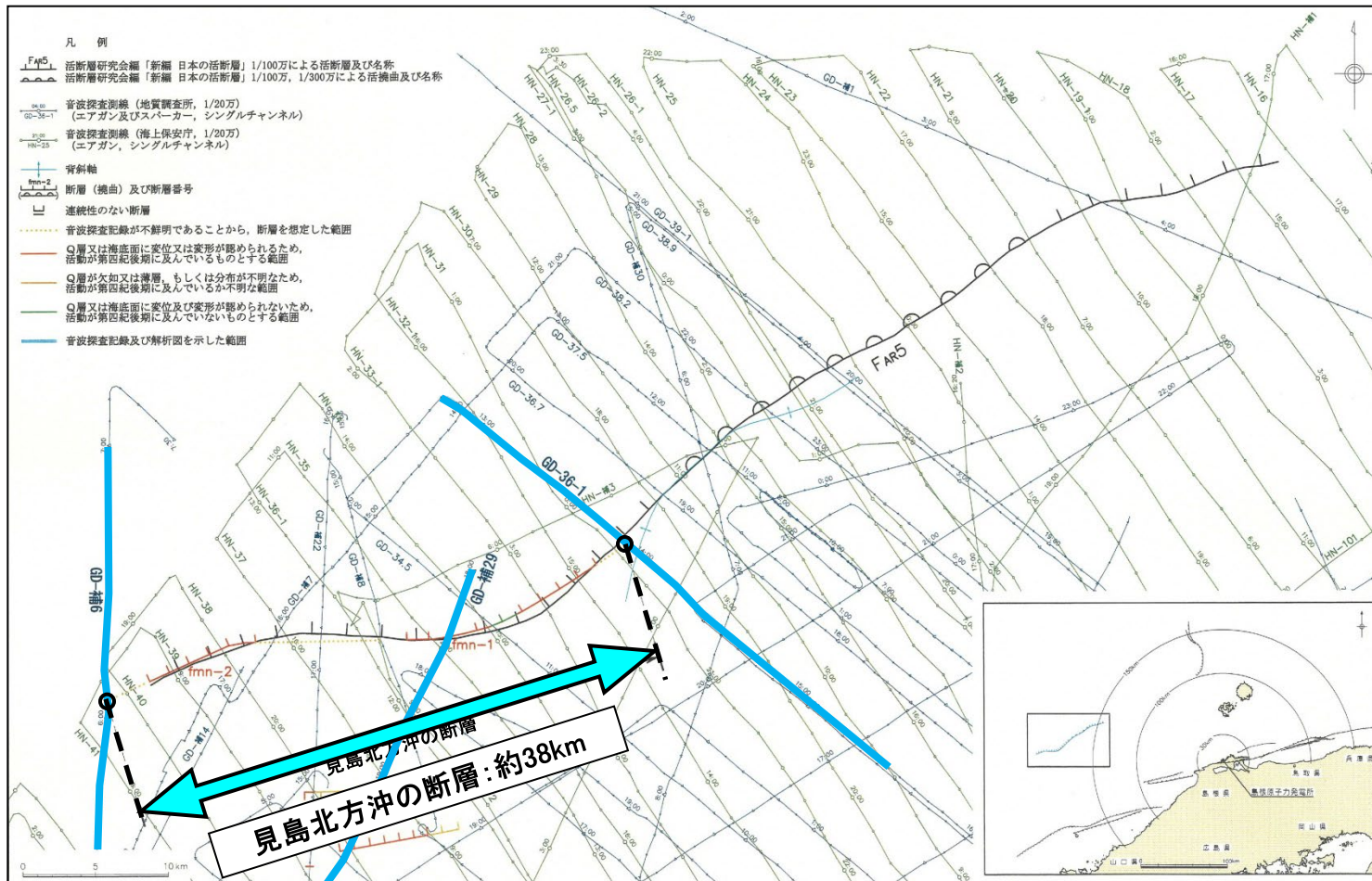
4. 敷地前面海域の地質層序

5. 敷地周辺海域の地質層序

- (1) 鳥取沖
- (2) 大田沖
- (3) その他海域

見島北方沖の断層の評価

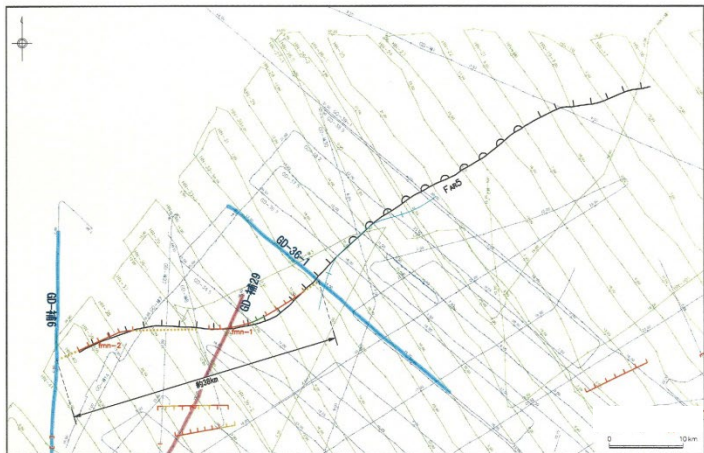
見島北方沖の断層の位置図



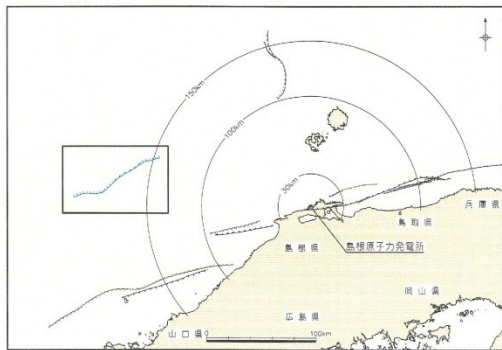
活断層研究会編 (1991)で見島北方沖の大陸斜面に示された断層(以下「見島北方沖の断層」という。)について、海上保安庁水路部等の音波探査記録に基づいて、分布性状及び活動性を検討した。

- ・見島北方沖の断層については、海上保安庁水路部等の音波探査記録によれば、文献で示されている断層の東部においては、中部更新統以上に連続性のある断層は認められない。
- ・西部においては、海上保安庁水路部等の音波探査記録によれば、約38km区間で一部に不明瞭な部分もあるが、中部更新統以上に影響を与えている断層が認められる。この約38km区間について、活動が後期更新世以降に及んでいる可能性があるが、敷地からの距離を考慮すると、敷地に与える影響は小さいと判断される。

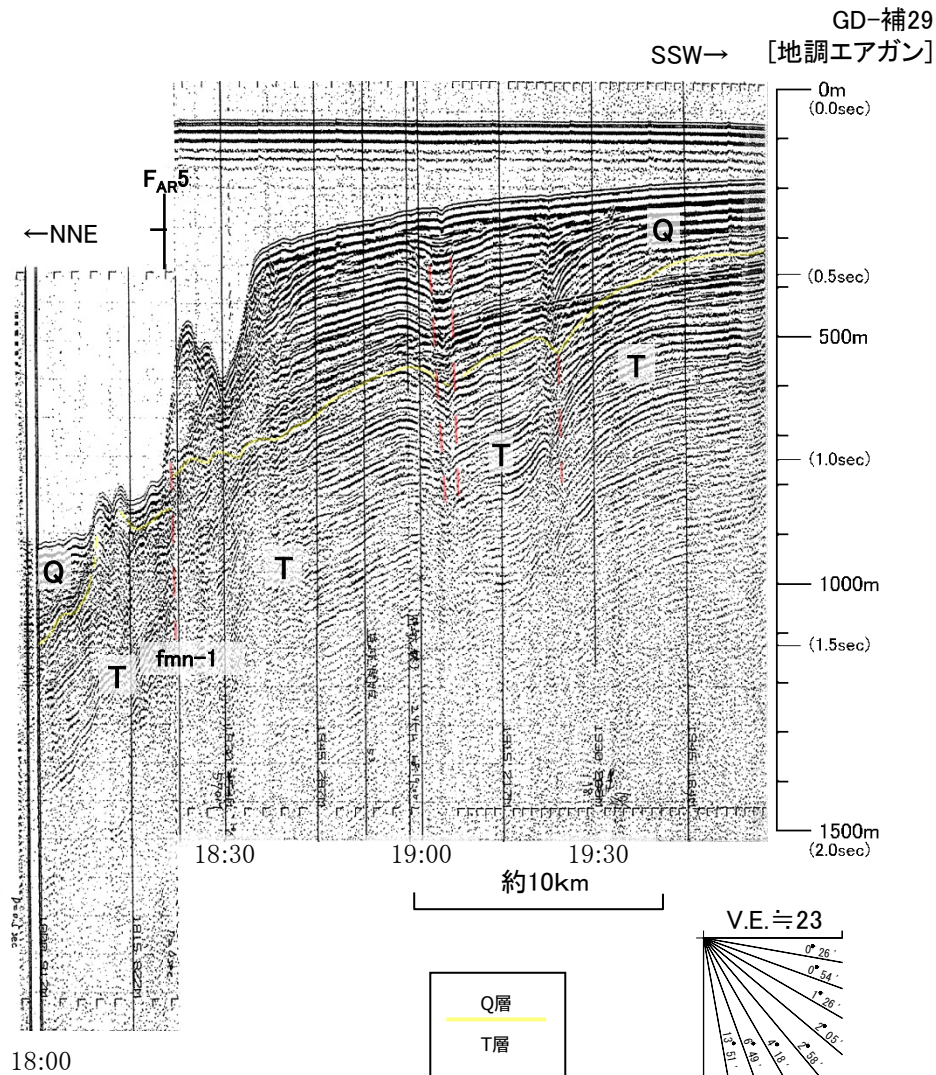
見島北方沖の断層の代表測線(音波探査解析図)



- 凡例
- 断層 (標高) 及び断層番号
 - 運動性のない断層
 - 穿断探査測線が不明であることから、断層を想定した断層
 - 右図に示す穿断探査測線の位置
 - Q層又は構造面に変位又は変位が認められるため、断層が第四紀更新統に及んでいるものとする断層
 - Q層が未知又は不明、もしくは方位が不明なため、断層が第四紀更新統に及んでいるものとする断層
 - Q層又は構造面に変位及び変位が認められたいため、断層が第四紀更新統に及んでいるものとする断層



- Q層 中期更新世～完新世
- T層 中新世～前期更新世



--- 推定断層

FAR: 「新編 日本の活断層」1/100万による活断層

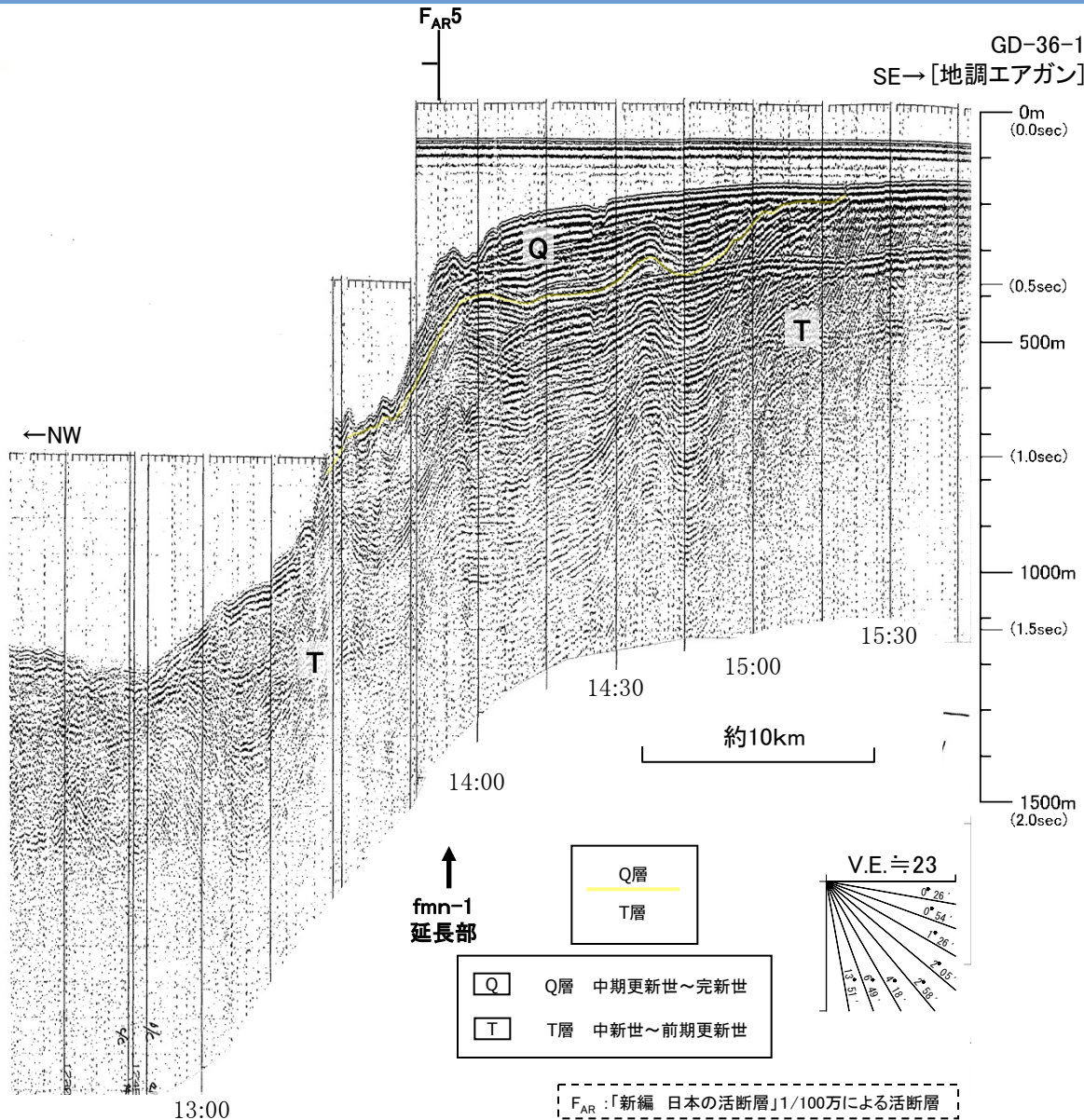
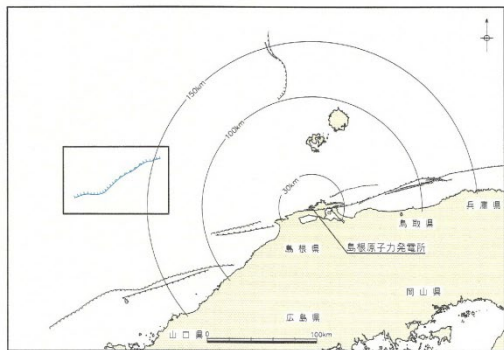
文献断層位置周辺には、Q層(中部更新統～完新統)までに変位を与えるfmn-1断層が認められる。

見島北方沖の断層の東端(音波探査解析図)



凡 例

- 断層(線画)及び断層番号
- 連続性のない断層
- 穿抜探査距離が不明であることから、断層を想定した範囲
- 右側に示す音波探査記録の位置
- Q層又は断層面に変位又は変形が認められるため、断層が第四紀更新統に及んでいるものとする範囲
- Q層が未知又は複雑、もしくは分布が不明なため、断層が第四紀更新統に及んでいないものとする範囲
- Q層又は断層面に変位及び変形が認められないため、断層が第四紀更新統に及んでいないものとする範囲

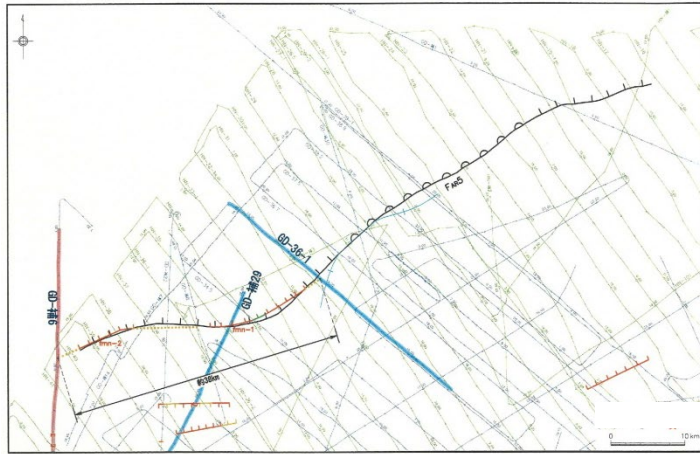


F_{AR}:「新編 日本の活断層」1/100万による活断層

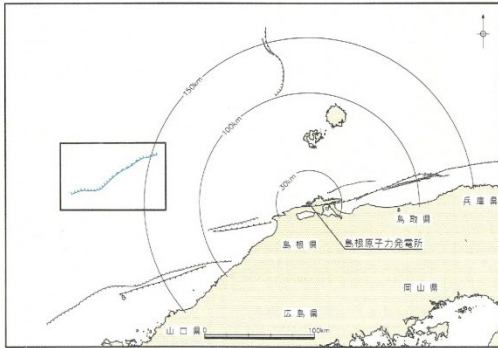
文献断層位置及びfmn-1断層延長部周辺には、T層(中新統~下部更新統)に変位や変形は認められない。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (7) 見島北方沖の断層

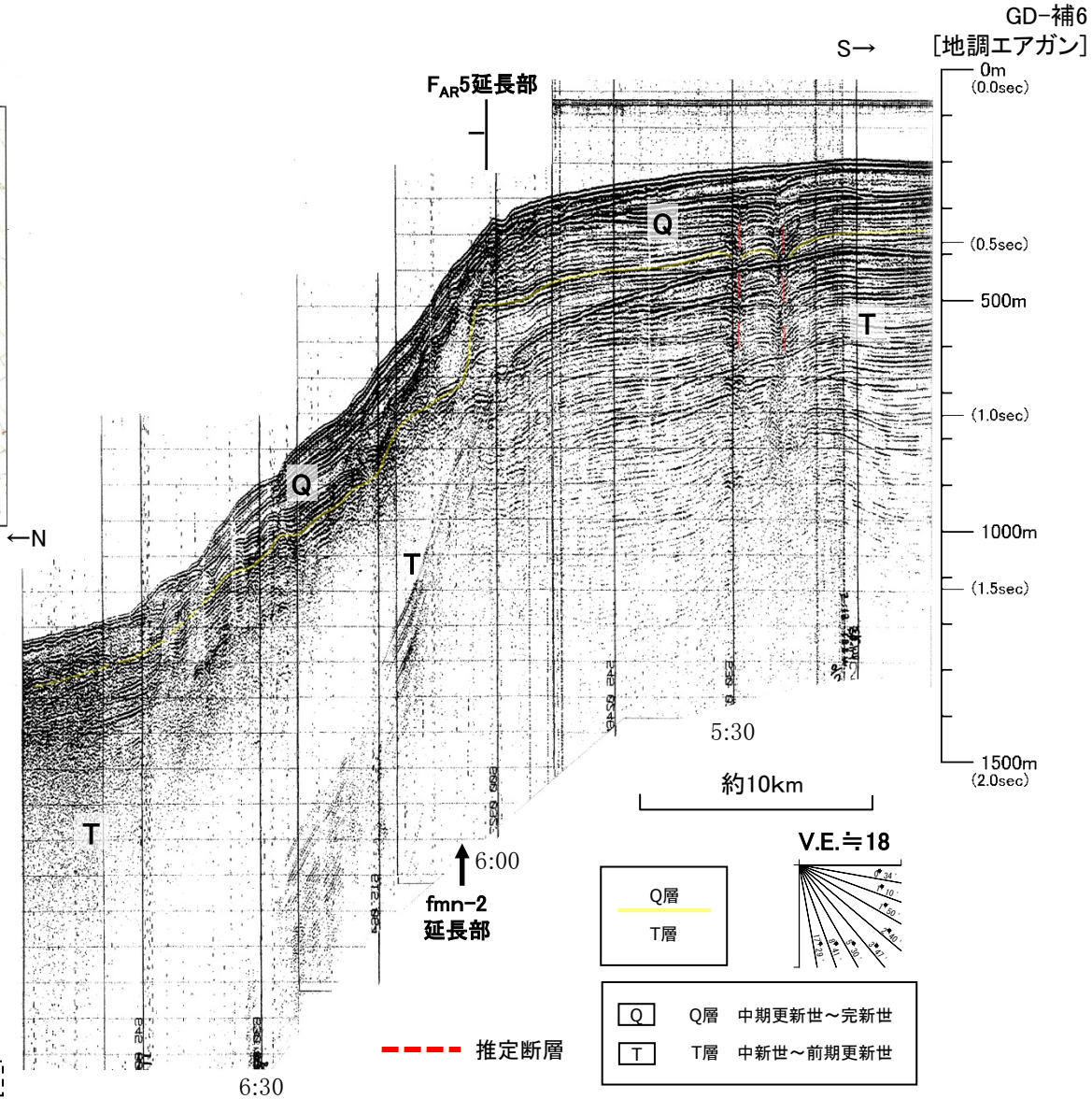
見島北方沖の断層の西端(音波探査解析図)



- 凡例
- 断層 (構造) 及び断層番号
 - 連続性のない断層
 - 音波探査記録が不鮮明であることから、断層を想定した範囲
 - 右図に示す音波探査記録の位置
 - Q層又は断層面に垂直又は斜交する断層があるため、断層が両側面に及んでいるものとみなす範囲
 - Q層が欠如又は薄層、もしくは分布が不明なため、断層が両側面に及んでいるものとみなす範囲
 - Q層又は断層面に垂直又は斜交する断層があるため、断層が両側面に及んでいるものとみなす範囲



F_{AR}: 「新編 日本の活断層」1/100万による活断層



- | | |
|----|--------------|
| Q層 | Q層 中期更新世～完新世 |
| T層 | T層 中新世～前期更新世 |

文献断層延長部及びfmn-2断層延長部周辺には、T層(中新統～下部更新統)に変位や変形は認められない。

1. 敷地周辺海域の地質・地質構造

2. 敷地前面海域の断層活動性評価

- (1) F-Ⅲ断層, F-Ⅳ断層及びF-V断層
- (2) FK-1断層
- (3) K-4撓曲, K-6撓曲及びK-7撓曲
- (4) F-I断層
- (5) F-II断層
- (6) F-VI断層
- (7) K-5撓曲
- (8) F-①断層及びF-②断層

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価

- (1) 鳥取沖西部断層及び鳥取沖東部断層
- (2) 大田沖断層
- (3) F57断層
- (4) K-1撓曲, K-2撓曲及びF_{KO}断層
- (5) 隠岐北西方の断層
- (6) 見島付近の断層
- (7) 見島北方沖の断層
- (8) 地蔵崎北東沖の断層

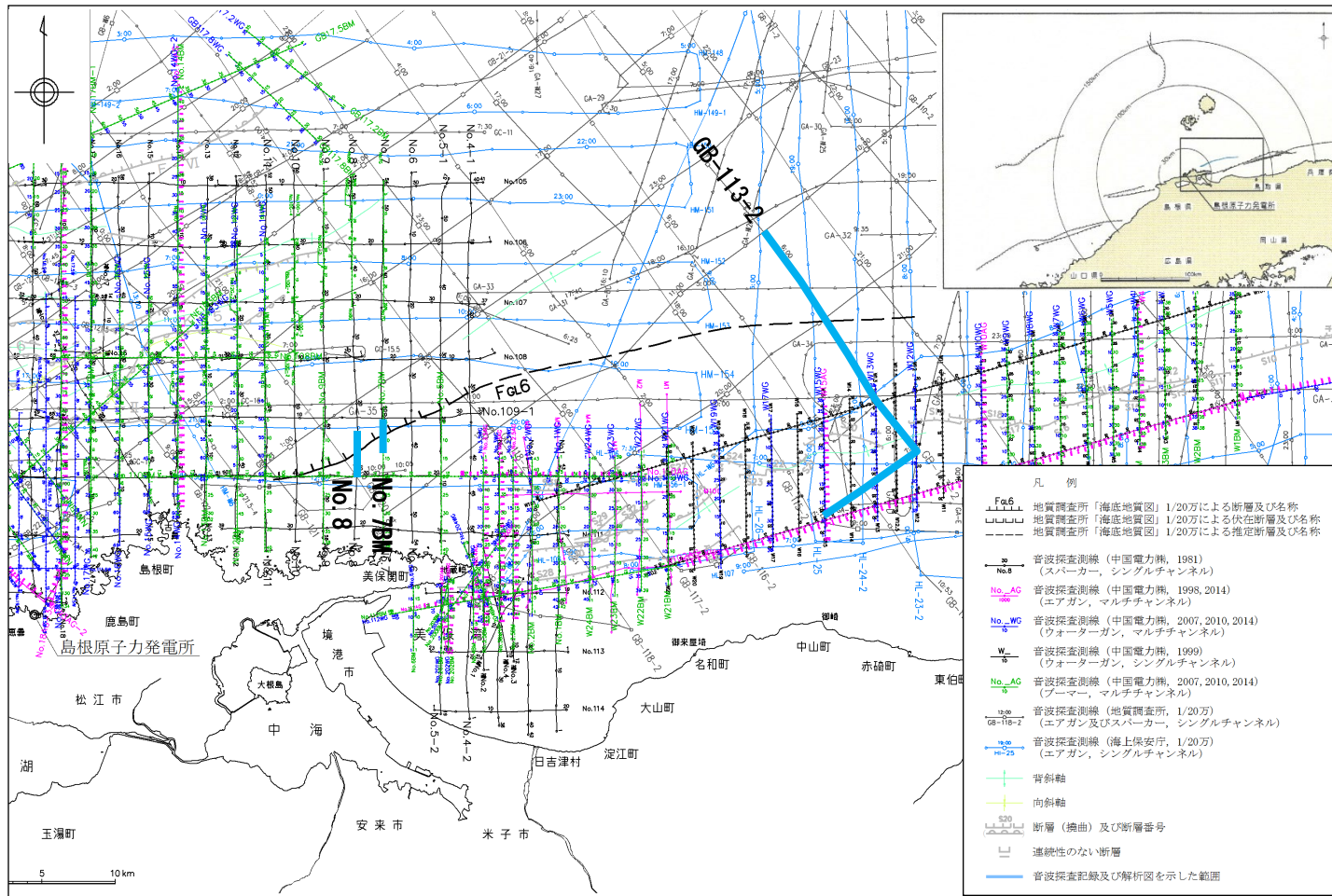
4. 敷地前面海域の地質層序

5. 敷地周辺海域の地質層序

- (1) 鳥取沖
- (2) 大田沖
- (3) その他海域

地蔵崎北東沖の断層の評価

地蔵崎北東方沖の断層の位置図

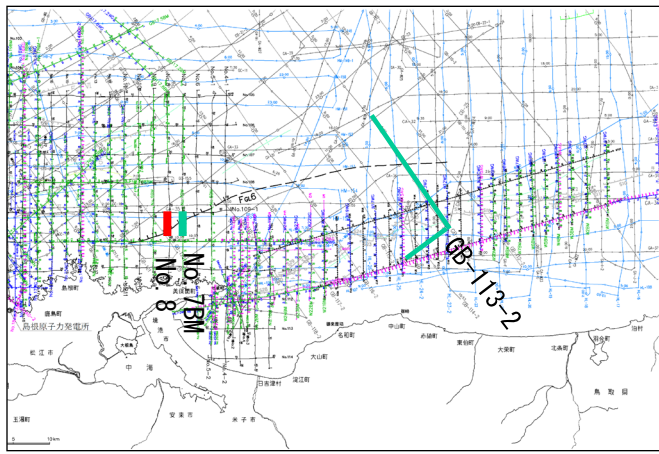


玉木ほか(1982)⁽³⁶⁾で鳥取県東部から島根半島東部沿岸の大陸棚に示された断層(以下「地蔵崎北東沖の断層」という。)について、当社及び海上保安庁水路部等の音波探査記録に基づいて、分布性状及び活動性を検討した。

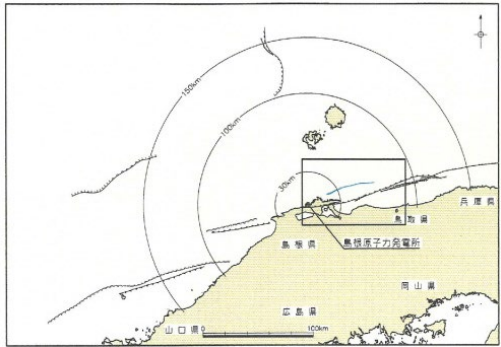
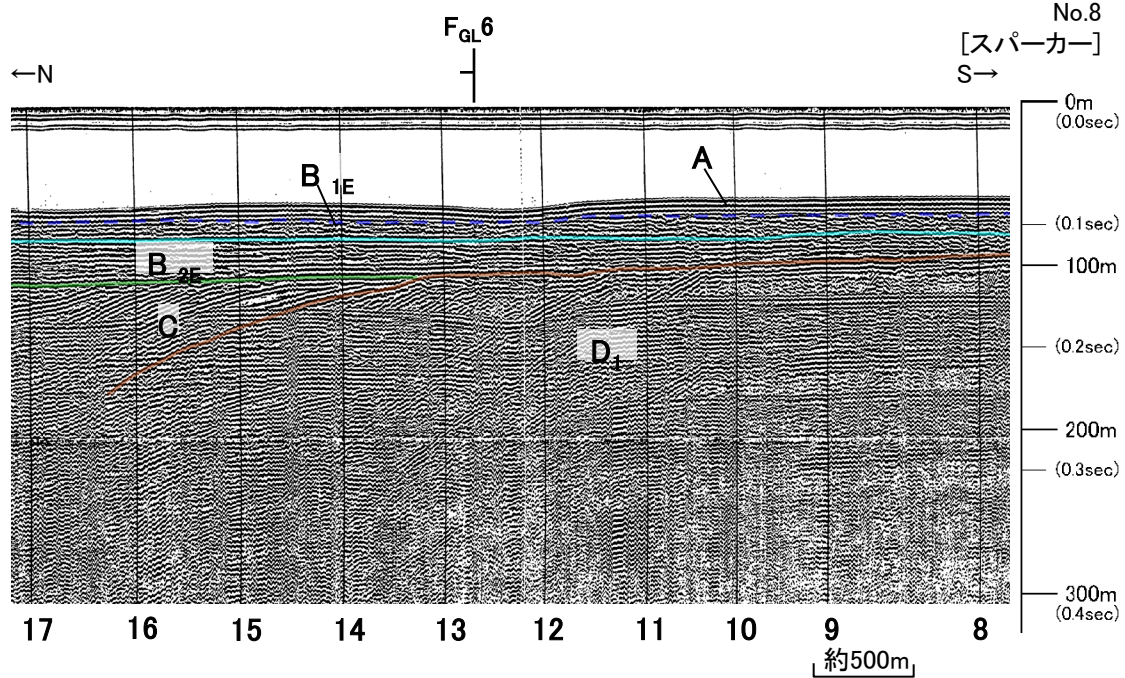
- ・地蔵崎北東沖の断層については、当社、海上保安庁水路部等の音波探査記録によれば、文献に示されている断層位置において、中部更新統以上に変位や変形は認められない。
- ・地蔵崎北東沖の断層については、少なくとも後期更新世以降の活動は認められない。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (8) 地蔵崎北東沖の断層

地蔵崎北東沖の断層の代表測線-1: 西部(音波探査解析図)

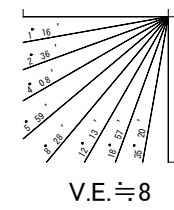


断層 (拗曲) 及び断層番号
連続性のない断層
右側に示す音波探査測線の位置



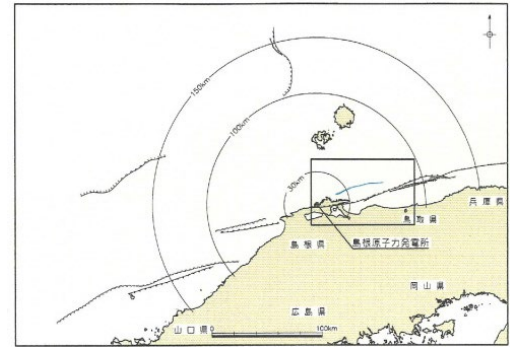
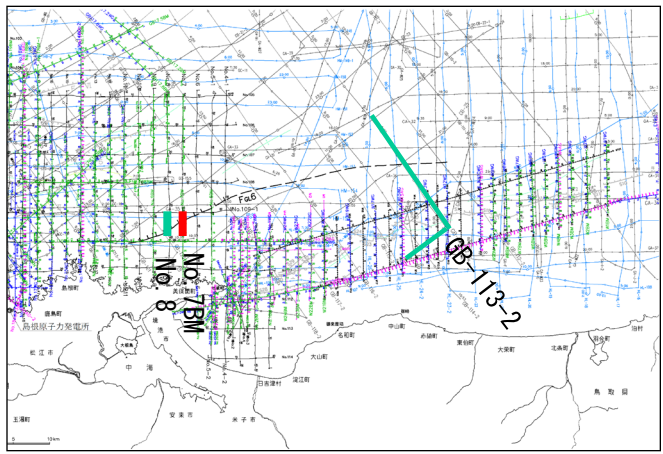
F_{GL}: 地質調査所「海底地質図」1/20万による断層、伏在断層及び推定断層

第四紀	完新世	A
	後期	B _{1E}
	更新世	B
中新世	中期	B _{2E}
	前期	C
第三紀	新第三紀	D
	中新世	D ₁ D ₂
火山岩・貫入岩		V

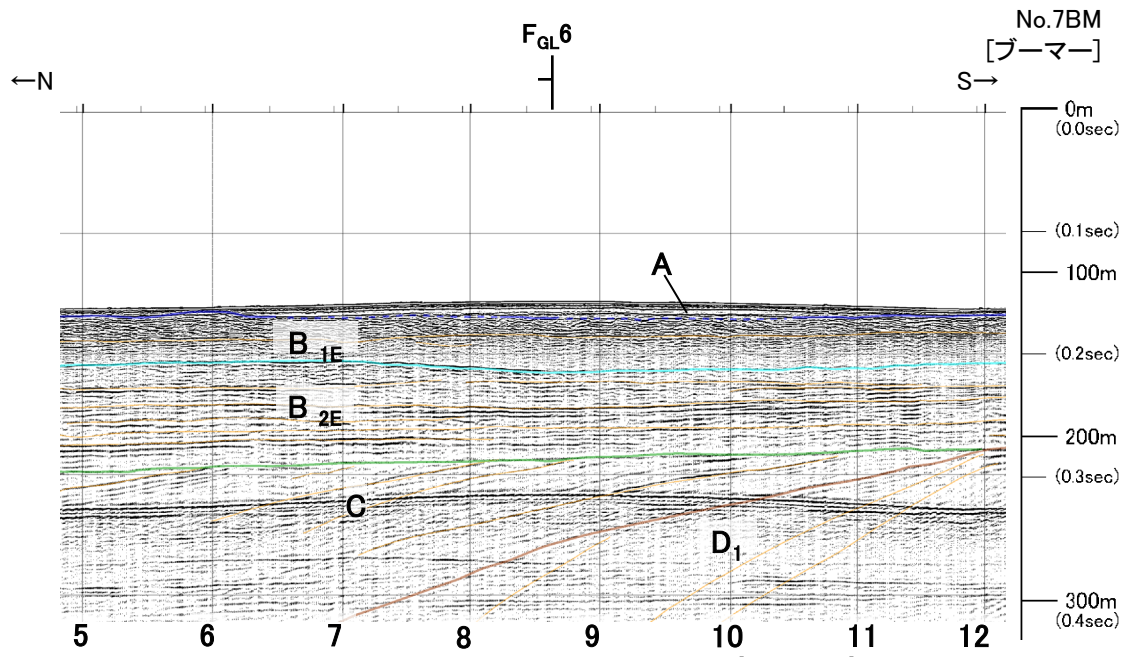


文献断層位置周辺には、D₁層(中新統)に変位や変形は認められない。

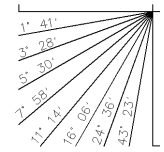
3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (8) 地蔵崎北東沖の断層
 地蔵崎北東沖の断層の代表測線-2: 西部(音波探査解析図)



F_{GL}: 地質調査所「海底地質図」1/20万による断層、伏在断層及び推定断層



第四紀	完新世	A
	後期	B _{1E}
	更新世	B
新第三紀	中期	B _{2E}
	前期	C
中新世	D	D ₁ D ₂
	火山岩・貫入岩	V

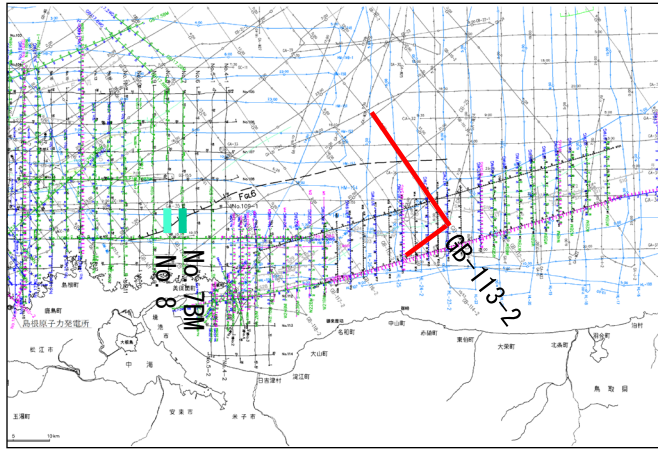


V.E. ≒ 6

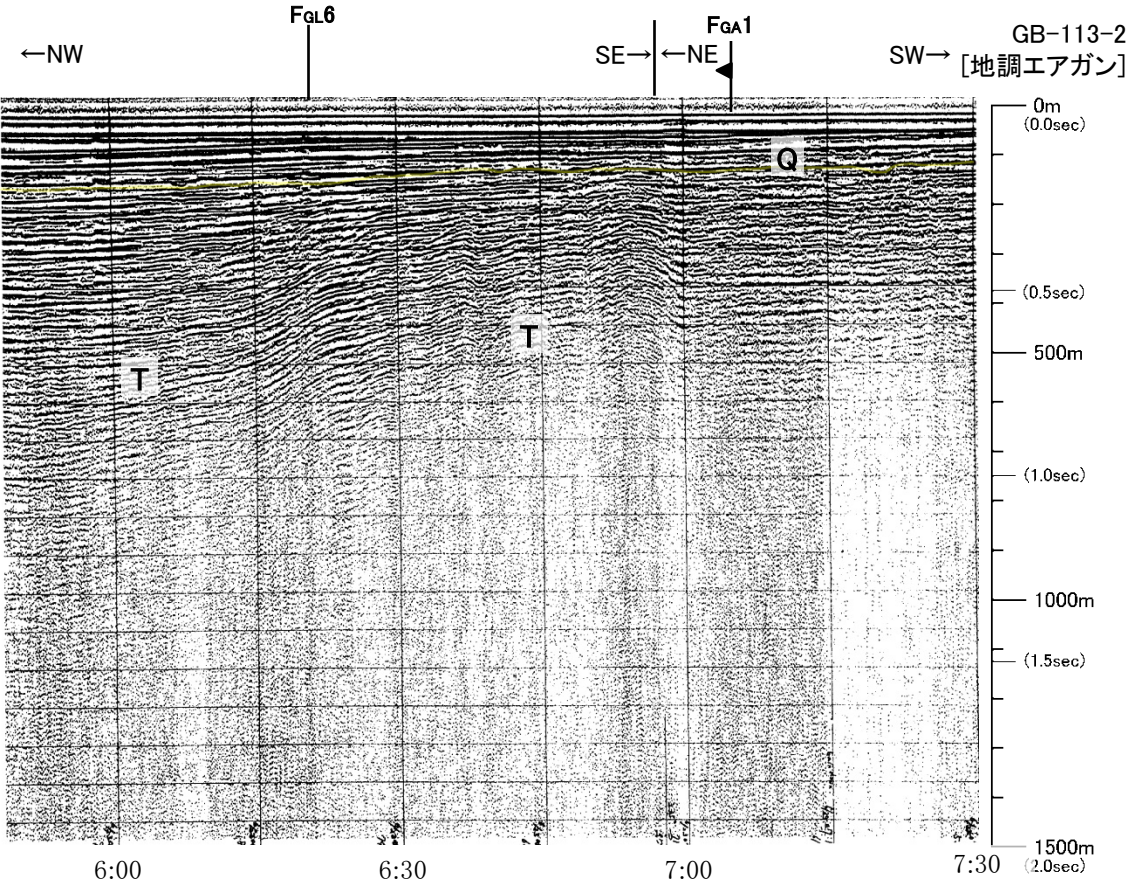
文献断層位置周辺には、D₁層(中新統)に変位や変形は認められない。

3. 敷地周辺海域の断層活動性評価 (8) 地蔵崎北東沖の断層

地蔵崎北東沖の断層の代表測線-3: 東部(音波探査解析図)



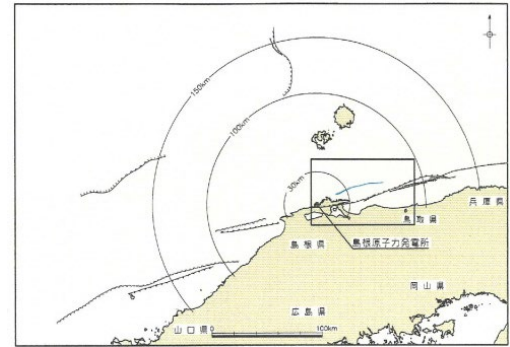
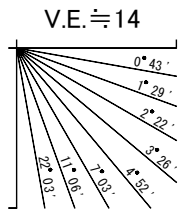
断層(拗曲)及び断層番号
連続性のない断層
右側に示す音波探査記録の位置



F_{GA}: 地質調査所「日本地質構造図」1/300万による新第三紀の逆断層
F_{GL}: 地質調査所「海底地質図」1/20万による断層、伏在断層及び推定断層

- Q Q層 中期更新世～完新世
- T T層 中新世～前期更新世

- Q層
- T層



文献断層位置周辺には、T層(中新統～下部更新統)に変位や変形は認められない。